

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	総務課

### （計画における位置づけ）

基本目標	I	町民への男女平等意識の浸透
重点目標	①	男女平等意識を深めるための啓発

### （取組事業の計画）

<b>番号</b>	<b>1</b>
<b>名称</b>	広報・ホームページを通じた継続的な啓発
<b>内容</b>	男女平等に関する理解が深められるよう町広報やホームページ等を活用し、年代や性別に合わせたわかりやすい情報発信に努めます。
<b>実施指標（out put）</b>	広報誌・HPへの掲載（各年12回）
<b>実施に関するデータの名称</b>	広報誌・HPへの掲載回数
<b>成果に関するデータの名称</b>	町民の意識に係る事項のため、町民意識調査等によって、その理解度を図る必要がある。

### （取組事業の評価）

<b>自己評価</b>	<b>4</b>	<small>（評価基準）</small> 5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）
<b>成果の内容</b>	広報せいろう一般号に「男女共同参画通信」のコーナーを設け、男女共同参画に関わる様々な情報を発信した。 県が発行する「ふれあいほっとらいん」をホームページに掲載した。	
<b>実施のデータ</b>	広報誌やホームページでは男女共同参画に関わる事柄や町の取組について掲載し、このほか定住自立圏事業で作成したリーフレットを掲載した。	
<b>成果のデータ</b>	R2:広報掲載回数12回、HP掲載回数3回 R3:広報掲載回数12回、HP掲載回数3回	
<b>課題</b>	・国の「男女共同参画週間」や「女性に対する暴力をなくす運動」など、時期に合わせた集中的な啓発を行うとよい。	
<b>次年度への改善点</b>	・国の運動や週間、時期に合わせたHPの更新、広報での周知を行う。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	総務課

### （計画における位置づけ）

基本目標	I	町民への男女平等意識の浸透
重点目標	①	男女平等意識を深めるための啓発

### （取組事業の計画）

番号	2
名称	男女共同参画についてのリーフレット等の発行
内容	男女共同参画に関する基本的な理解が深められる内容のリーフレットを作成し、全戸配布します。
実施指標（out put）	広い世代に届くよう、教育機関・シルバー人材センター・図書館・町民会館等にリーフレットの配布
実施に関係するデータの名称	リーフレットの作成・配布枚数
成果に関係するデータの名称	町民の意識に係る事項のため、町民意識調査等によって、その理解度を図る必要がある。

### （取組事業の評価）

自己評価	4	<small>（評価基準）</small> 5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）
成果の内容	新発田市・胎内市定住自立事業として作成したリーフレットを入園式・入学式のタイミングで子ども園・小学校・中学校でのリーフレットの配布。 高齢の方にも見てもらえるようシルバー人材センターにリーフレット配布。 また、男女共同参画週間に合わせてリーフレットを役場庁舎の各窓口、町民会館、保健センター、図書館などの町施設に設置。	
実施のデータ	R2：入園式・入学式でのリーフレット配布数（子ども園：139人 小学校：150人 中学校：111人） シルバー人材センター配布数 20冊 男女共同参画週間での町施設設置数 70冊 R3：入園式・入学式でのリーフレット配布数（子ども園：161人 小学校：159人 中学校：149人） シルバー人材センター配布数 20冊 男女共同参画週間での町施設設置数 70冊	
成果のデータ	「男女共同参画」という言葉の認知度を前回調査時（令和元年度）と比較すると知っている人の割合が2.2%減とわずかではあるが減少した。（令和3年度町民意識調査）	
課題	入園式・入学式でのリーフレット配布など令和元年度よりリーフレットの配布数を増やしてはいるものの、「男女共同参画」という言葉の認知度が減となったことから、リーフレットを見てもらえる配布方法の工夫が必要である。	
次年度への改善点	リーフレットを入園式・入学式、シルバー人材センター、男女共同参画週間での町施設設置に加え、その他に設置できる施設を探し、設置依頼を行う。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	総務課

### (計画における位置づけ)

基本目標	I	町民への男女平等意識の浸透
重点目標	①	男女平等意識を深めるための啓発

### (取組事業の計画)

<b>番号</b>	<b>3</b>	
<b>名称</b>	<b>男女共同参画週間に併せた集中的な取組み</b>	
<b>内容</b>	国が定める男女共同参画週間に併せて、関係課と連携をしながら、本計画に記載する取組事業に集中的に取り組むことで、町民の関心を高めます。	
<b>実施指標 (out put)</b>	本計画に記載する取組事業の6月中の実施 6月に集中的に事業を実施するよう男女共同参画推進員を活用した働きかけを行う	
<b>実施に関係するデータの名称</b>	6月に行った取組事業数	
<b>成果に関係するデータの名称</b>	町民の意識に係る事項のため、町民意識調査等によって、その理解度を図る必要がある。	

### (取組事業の評価)

<b>自己評価</b>	<b>4</b>	(評価基準) 5・・・十分に取組んだ(達成度9割前後) 4・・・概ね取組まれた(達成度8割前後) 3・・・一定程度取組まれた(達成度6割前後) 2・・・あまり取組まれていない(達成度3割前後) 1・・・全く取組まれていない(達成度が3割に満たない)
<b>成果の内容</b>	男女共同参画週間に併せた取組みは、定住自立圏形成協定に基づく共同啓発事業の一環として3市町村にて男女共同参画巡回パネル展を行った。 また、今年度設置した各所属の各職員により構成される男女共同参画推進会議にて通常業務に男女共同参画意識を持つよう意識共有を行い、男女共同参画週間では各所属の窓口や各町施設でリーフレットや啓発啓発チラシの掲示を行った。	
<b>実施のデータ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画巡回パネル展の開催</li> <li>・男女共同参画推進会議の開催、各窓口及び施設にリーフレットの設置</li> </ul>	
<b>成果のデータ</b>	「男女共同参画」という言葉の認知度を前回調査時(令和元年度)と比較すると知っている人の割合が2.2%減とわずかではあるが減少した。(令和3年度町民意識調査)	
<b>課題</b>	定住自立圏で男女共同参画巡回パネル展を行い、各窓口及び施設にリーフレットの設置したがホームページ等での啓発を行っていなかった。	
<b>次年度への改善点</b>	定住自立圏で男女共同参画巡回パネル展を行い、各窓口及び施設にリーフレットの設置に加え、ホームページ等での啓発を行う。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	町民課

### （計画における位置づけ）

基本理念	「人と人・男と女」が支えあうまち	
基本目標	I	町民への男女平等意識の浸透
重点目標	①	男女平等意識を深めるための啓発

### （取組事業の計画）

番号	4
名称	人権教育・啓発推進計画に基づく女性の人権についての普及啓発
内容	聖籠町人権教育・啓発推進計画を策定し、他の人権問題と合わせて、女性の人権についても、啓発事業に取り組めます。
男女共同参画推進との関係	あらゆる人権課題のひとつとして「女性の人権施策の推進」を盛り込むことで、男女共同参画の視点に立った施策を推進できる。
実施に関係するデータの名称	推進計画に基づく事業名・イベント名などの記録
成果に関係するデータの名称	推進計画に対する検証（第三者委員会）

### （取組事業の評価）

自己評価	3	<p>（評価基準）</p> <p>5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後）</p> <p>4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後）</p> <p>3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後）</p> <p>2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後）</p> <p>1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）</p>
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	人権課題の一つとして「女性の人権施策の推進」を盛り込むことで、男女共同参画の視点に立った施策を推進できる。	
実施のデータ	令和3年10月24日人権講演会開催（講師女性落語家三遊亭藍馬氏）参加者72名 アンケート結果 回答数59人 人権問題について関心が深まったとの回答44人	
成果のデータ	平成30年度に策定した「聖籠町人権教育・啓発推進計画」に定める人権推進会議を開催し事業内容を検証	
次年度への改善点	人権について、幅広いテーマを扱う中で男女共同参画の在り方について啓発していきたい。 自己完結型に陥らないよう、人権推進会議による検証も並行して行ってきたい。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	子ども教育課

### （計画における位置づけ）

基本目標	I	町民への男女平等意識の浸透
重点目標	②	男女平等に関する学習機会の確保

### （取組事業の計画）

<b>番号</b>	<b>5</b>	
<b>名称</b>	<b>幼児期における男女平等意識の形成促進</b>	
<b>内容</b>	こども園において、様々な機会を通じて男女平等、人権尊重について子どもの理解を促します。	
<b>実施指標（out put）</b>	指導のタイミングとレベルについて差異が生じないように職員ミーティングにおいて共通認識を図り、日々の園生活においてその都度理解を促す。	
<b>実施に関するデータの名称</b>	日常的な生活指導で行う	
<b>成果に関するデータの名称</b>	示すことが難しい	

### （取組事業の評価）

<b>自己評価</b>	<b>3</b>	<small>（評価基準）</small> 5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）
<b>男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか</b>	日常の園生活において、男女区別のない教育活動を実施してきた。	
<b>実施のデータ</b>	日常の園生活において指導した（データとして示すことは困難）。	
<b>成果のデータ</b>	データとして示すことは困難。	
<b>課題</b>	職員一人一人の意識とレベルに差異が生じることがないように、職員ミーティングで職員の意思統一の打ち合わせを実施し、共通理解と研鑽を重ね進めていく。	
<b>次年度への改善点</b>	職員ミーティングにおいて、具体的事例をもとに指導のレベルと機会の適否について、確認の機会を設けると共に、継続して適切な指導に努める。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	教育未来課

### （計画における位置づけ）

基本目標	I	町民への男女平等意識の浸透
重点目標	②	男女平等に関する学習機会の確保

### （取組事業の計画）

<b>番号</b>	<b>6</b>	
<b>名称</b>	<b>男女平等教育の推進</b>	
<b>内容</b>	小・中道徳の授業において、男女平等意識に基づいた人権教育を行います。	
<b>実施指標（out put）</b>	学齢に応じた内容を意識付け、子ども園含め12年カリキュラムの1項として取り組む。	
<b>実施に関するデータの名称</b>	「特別の教科道徳」の授業において実施	
<b>成果に関するデータの名称</b>	授業によりどのような意識付けができたか調査を行わなければ成果を把握できない	

### （取組事業の評価）

<b>自己評価</b>	<b>4</b>	<p>（評価基準）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後）</li> <li>4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後）</li> <li>3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後）</li> <li>2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後）</li> <li>1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）</li> </ul>
<b>男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳、学級活動において、日常に起こりうる場面を取り上げ、全学年で人権教育を行うことができた。</li> <li>・「生きる」シリーズを活用した同和教育人権教育の視点に立った道徳の授業やソーシャルスキルトレーニングなどを通して、「差別を許さない心」「よりより人間関係を築く言葉や態度」などについて計画的・継続的に取り組んできた。</li> <li>・教育活動の中で、男女の区別が必要ないもの（代表児童の選定など）は、平等に選出することで、男女の役割の先入観を与えないようにした。</li> <li>・女子生徒の制服について、スラックスを採用した。</li> </ul>	
<b>実施のデータ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の年間指導計画に基づいて、計画通り実施した。</li> </ul>	
<b>成果のデータ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女で力を合わせる姿や仲良く遊ぶ姿が見られ、男女間でのトラブルはほとんどない。</li> <li>・学校評価アンケートにおいて「思いやりをもって誰とでも接することができた」の項目で肯定的評価をする生徒の割合の目標を達成している。（強い肯定目標60%→前期65%）</li> <li>・「人に優しくできる」「誰にでも優しい言葉を使っている児童」などの児童アンケート結果から、思いやりの心が育っているといえる。</li> </ul>	
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女間のトラブルは少ないものの、心無い言動で異性を傷つけてしまった例があった。</li> <li>・からかいや冷やかしなど相手の気持ちを考えない言動によるトラブルは見られる。</li> </ul>	
<b>次年度への改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年から「男女一緒に当たり前」という意識付けを学校生活の具体的な場面を通して指導していく。</li> <li>・学校生活全般において、具体的な場面を捉えて、継続的に指導していく。</li> </ul>	



## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	社会教育課

### （計画における位置づけ）

基本目標	I	町民への男女平等意識の浸透
重点目標	②	男女平等に関する学習機会の確保

### （取組事業の計画）

<b>番号</b>	<b>7</b>
<b>名称</b>	<b>生涯学習における関係講座の設置</b>
<b>内容</b>	男女共同参画の学習は、様々な年代に応じた生涯学習の機会を提供するため、理解度を高める必要がある。現在、実施している講座（聖山大学：高齢者対象・まちづくり創生大学：青壮年対象）で男女平等に関する講座を開設する。
<b>実施指標（out put）</b>	講座の開設（年1回）
<b>実施に関するデータの名称</b>	講座の開催数、参加者数
<b>成果に関するデータの名称</b>	研修終了後のアンケートの満足度

### （取組事業の評価）

<b>自己評価</b>	<b>3</b>	<small>（評価基準）</small> 5・・・十分に取組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取組まれていない（達成度が3割に満たない）
<b>成果の内容</b>	高齢者対象の「聖山大学」はコロナにより令和2年度から中止となっている。単発事業として企画したもののコロナにより中止したものもあり、令和2年度に講座1回の開催となった。	
<b>実施のデータ</b>	R2：「パパママのためのアンガーマネジメント教室」2月6日。8名参加 R3：未実施	
<b>成果のデータ</b>	満足・やや満足100%	
<b>課題</b>	コロナにより人集めが難しかった。 若年層の講座参加が少ない。 若年層に興味のある内容や参加しやすい日時等を考慮した講座を企画する必要がある。	
<b>次年度への改善点</b>	聖山大学に加え、単発の講座を実施したい。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	図書館

### (計画における位置づけ)

基本目標	I	町民への男女平等意識の浸透
重点目標	②	男女平等に関する学習機会の確保

### (取組事業の計画)

<b>番号</b>	<b>8</b>
<b>名称</b>	<b>男女共同参画に関する図書等の充実</b>
<b>内容</b>	図書館において、男女共同参画に関する資料（図書等）を積極的に収集するとともに、町民の利用・提供に努める。
<b>実施指標（out put）</b>	第3次聖籠町総合計画 基本計画（施策目標）の17の重点目標の視点から10個のキーワードを定め資料収集（年3%増）に努めるとともに、広報や図書館で行う読み聞かせ（児童・一般 各1回）により啓発を行う。
<b>実施に関係するデータの名称</b>	キーワード別抽出リスト、テーマ展示の回数、ホームページ掲載回数、広報せいろうの掲載回数、読み聞かせ記録
<b>成果に関係するデータの名称</b>	キーワード別蔵書数

### (取組事業の評価)

<b>自己評価</b>	<b>4</b>	(評価基準) 5・・・十分に取組んだ(達成度9割前後) 4・・・概ね取組まれた(達成度8割前後) 3・・・一定程度取組まれた(達成度6割前後) 2・・・あまり取組まれていない(達成度3割前後) 1・・・全く取組まれていない(達成度が3割に満たない)
<b>成果の内容</b>	期間中「男女共同参画」に関する資料（図書、パンフレット等）の収集と貸出を行った。毎年「男女共同参画週間」（6/23～6/29）には、関連資料のテーマ展示を実施し、「広報せいろう」、図書館HPで情報発信を行った。また、高齢者施設での読み聞かせの会では年間を通して「輝いた女性偉人」について紹介。蓮野小学校4年生へのブックトークでは、「だれだって、なんだってできる!」というテーマで性差・年齢に関係なく活躍している人たちの物語を紹介するなどし、町民への啓発に努めた。	
<b>実施のデータ</b>	広報：「広報せいろう」（2021.6号）、図書館HP（令和2・3年度6月テーマ展示案内）、テーマ展示：令和2・3年度6月展示、啓発：高齢者施設なごみの家読み聞かせ（令和3年度11回）、蓮野小学校ブックトーク（令和3年度1回）	
<b>成果のデータ</b>	「聖籠町男女共同参画」に関する資料（図書、パンフレット等）：蔵書数（令和2年度560冊（前年度499冊より10%増）、令和3年度616冊（前年度より10%増）※対象資料検索キーワード「男女共同参画」「男女平等」「ジェンダー」「ハラスメント」等	
<b>課題</b>	聖籠町の取組みとして行っている「環境問題」も「男女共同参画」も、近年では一般的に「SDGs」の目標のひとつとしての文脈の中で掲げられることが多い。新しい概念、新しい情報を分かりやすく提供するために、資料の収集と合わせて展示の仕方を見直す必要がある。	
<b>次年度への改善点</b>	古い資料の除籍を含め、展示の方法の変更を検討したい。そのために、成果としての蔵書冊数も、新規収蔵率などに変更する必要がある。また、図書館としてジェンダーに配慮する姿勢を示すため、アンケートや図書利用券の登録申込書など性別記入の欄で変更可能なところは変えていきたい。	



## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	総務課

### （計画における位置づけ）

基本目標	I	町民への男女平等意識の浸透
重点目標	③	男女平等の視点に立った行政サービスの実現

### （取組事業の計画）

番号	9	
名称	町職員への意識啓発	
内容	町職員一人ひとりが男女平等の意識をもって職務にあたることができるよう、研修の実施や情報提供を行うことで、職員の意識啓発を図ります。	
実施指標（out put）	新採用職員研修の実施（年1回） 一般職員向け研修の実施（年1回）	
実施に関するデータの名称	研修の開催数、参加者数	
成果に関するデータの名称	研修終了後のアンケートによる研修内容の理解度	

### （取組事業の評価）

自己評価	4	<small>（評価基準）</small> 5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）
成果の内容	6月に開催した定住自立圏協定に基づく新発田市・胎内市との共同生活事業である「ワークライフバランスセミナー」と一般職員対象とした男女共同参画研修を同時開催した。また、今年度設置した各所属の職員により構成される男女共同参画推進会議にて、通常業務に男女共同参画の意識を持つよう意識共有を行った。	
実施のデータ	R2：一般職員対象研修の実施 1回 参加者 15名（男性 11名、女性 4名） R3：一般職員対象研修の実施 1回 参加者17名（男性10名、女性7名） 男女共同参画推進会議の開催 2回（対面開催1回、書面開催1回）	
成果のデータ	R2：100%の参加者が研修内容について「理解できた」と回答。 また、40%の参加者が研修内容について「とても参考になった」と回答（60%の参加者が研修内容について「参考になった」と回答）  R3:100%の参加者が研修内容について「理解できた」と回答。 また、50%の参加者が研修内容について「とても参考になった」と回答（40%の参加者が研修内容について「参考になった」と回答）	
課題	コロナ禍により新採用職員に対する研修を行えなかった。	
次年度への改善点	総務課が実施する新採用研修に、男女共同参画のプログラムを積極的に入れるよう検討する。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	総務課

### (計画における位置づけ)

基本目標	I	町民への男女平等意識の浸透
重点目標	③	男女平等の視点に立った行政サービスの実現

### (取組事業の計画)

<b>番号</b>	<b>10</b>	
<b>名称</b>	<b>町民意識調査の実施</b>	
<b>内容</b>	町民への男女平等意識の浸透の程度を調査し、町の取組の成果と課題を把握するとともに、調査を行うことで、更なる町民への男女平等意識の浸透を図ります。	
<b>実施指標 (out put)</b>	町民アンケートの実施 (隔年)	
<b>実施に関するデータの名称</b>	町民アンケート調査回数、回答率	
<b>成果に関するデータの名称</b>	アンケートにおける男女平等意識の浸透度	

### (取組事業の評価)

<b>自己評価</b>	<b>5</b>	(評価基準) 5・・・十分に取り組んだ (達成度9割前後) 4・・・概ね取り組まれた (達成度8割前後) 3・・・一定程度取り組まれた (達成度6割前後) 2・・・あまり取り組まれていない (達成度3割前後) 1・・・全く取り組まれていない (達成度が3割に満たない)
<b>成果の内容</b>	男女共同参画委員会と共同しながら町民アンケートを作成し、11月～12月に町民アンケートを実施。なお、令和3年度町民アンケートから若い世代の回答率を上げるために、郵送だけでなく、インターネット回答フォームを作成し、インターネット回答を可能とした。 アンケート結果はクロス集計を行い、委員会及び庁内男女共同参画推進員に報告。	
<b>実施のデータ</b>	R2：実施なし R3：町民アンケート 1回実施 500部配布 回収率184人 (36.8%)	
<b>成果のデータ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代の回答率を上げるためにインターネット回答を導入したが、アンケート回答者の内、10歳代は1.1%、20歳代は8.2%と非常に回答率が低くなっている。</li> <li>・アンケート結果から根強い男尊女卑の考え方や家事や育児に対する男女間の意識の違いなどが浮き彫りとなった。</li> </ul>	
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の財政が厳しい中で、いかに財源を使わずに工夫してアンケートを行い、回収率を上げるか検討が必要</li> </ul>	
<b>次年度への改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根強い男尊女卑の考え方を払拭し、家事や育児に対する男女間の意識の違いなどをなくすために、引き続き啓発活動を行う。</li> <li>・若い世代の回答率が非常に低いため、いかに工夫してアンケートを行い、回収率を上げるか検討を行う。</li> </ul>	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	社会教育課

### (計画における位置づけ)

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	①	生涯を通じて心と体が健やかに暮らせる健康支援

### (取組事業の計画)

番号	11
名称	スポーツ活動の推進事業
内容	町の補助団体であるNPO法人スポネットせいらうでは、自主事業として「ヨガ教室」「ピラティス教室」「フラダンス教室」など女性のニーズに対応した事業を実施している。また、高齢者向け「健康づくり教室」を実施している。これら事業を支援する。
男女共同参画推進との関係	女性のニーズを反映して企画し、女性が参加しやすく、健康づくりに励むことができる。
実施に関係するデータの名称	講座の開催数・参加者数
成果に関係するデータの名称	参加した女性の割合・女性参加者の満足度

### (取組事業の評価)

自己評価	5	(評価基準) 5・・・十分に取組んだ(達成度9割前後) 4・・・概ね取組まれた(達成度8割前後) 3・・・一定程度取組まれた(達成度6割前後) 2・・・あまり取組まれていない(達成度3割前後) 1・・・全く取組まれていない(達成度が3割に満たない)
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	スポネットせいらうにより女性のニーズを反映した健康づくりにつながる企画を行い、好評を得ている。	
実施のデータ	女性のニーズを反映した講座数 R2：8講座「おやすみヨガ教室」「ピラティス&ストレッチ教室」「やさしい太極拳教室」「ヨガ教室」「ハワイアンフラ教室」「ボクサーシェイプアップ」「青空パークヨガ」「サンセット浜辺ヨガ」のべ193回・参加者数のべ1,830人 R3：7講座「おやすみヨガ教室」「やさしい太極拳教室」「ヨガ教室」「ハワイアンフラ教室」「ボクサーシェイプアップ」「青空パークヨガ」「サンセット浜辺ヨガ」のべ200回・参加者数のべ2,094人	
成果のデータ	女性参加者が9割以上。 「身体の調子が良くなった。(ヨガ教室)」「仲間ができて、楽しい。(太極拳教室)」「参加後はぐっすり眠れる(おやすみヨガ)」等の意見が多く、R2・3年共に参加者のほぼ全員が内容に満足・やや満足している。	
課題	コロナの影響により、感染対策が最優先となり、新たな取り組みが十分にできなかった。 感染対策を徹底しつつ、内容の見直しや更新も不可欠である。	
次年度への改善点	新規講座の実施を含め、様々な事業を展開する必要がある。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	社会教育課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	①	生涯を通じて心と体が健やかに暮らせる健康支援

### （取組事業の計画）

<b>番号</b>	<b>12</b>
<b>名称</b>	<b>障がい者・高齢者スポーツ推進</b>
<b>内容</b>	障がい者や高齢者の方々が、気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション事業を展開する。具体的には、10月のスポレク祭で障がい者スポーツの紹介及び障がい者スポーツ大会等を誘致する。
<b>男女共同参画推進との関係</b>	人権が尊重され、平等に暮らせる事業の推進
<b>実施に関係するデータの名称</b>	障がい者スポーツ大会の誘致（年1回） スポレク祭での障がい者スポーツの紹介（年1回）
<b>成果に関係するデータの名称</b>	開催数、参加者数

### （取組事業の評価）

<b>自己評価</b>	<b>4</b>	（評価基準） 5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）
<b>男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか</b>	障がい者向けでは聖籠町ポッチャ大会（年1回）・パラスポーツ教室（通年）、高齢者向けでは「山倉エクササイズ教室」・「亀代あそび教室」（通年）と、スポネットせいろうが主催し様々な事業が行われている。スポレク祭はコロナにより中止（R2・R3）	
<b>実施のデータ</b>	障害者サッカー大会（R2・11月、R3・12月実施）、ポッチャ大会（R2・10月実施、R3・11月実施） スポレク祭はコロナにより中止（R2・R3）	
<b>成果のデータ</b>	障がい者スポーツ関連事業開催数及び参加者数 R2：大会1回26人、教室7回のべ32人 R3：大会1回26人、教室9回のべ34人 高齢者対象教室開催数及び参加者数 R2：のべ63回のべ1,000人 R3：のべ78回のべ1,167人	
<b>課題</b>	特に高齢者はコロナの感染リスクが高いため、内容の充実とともに感染対策の徹底が不可欠。	
<b>次年度への改善点</b>	障がい者スポーツ、高齢者事業どちらも内容がマンネリ化しないよう、新しい内容を取り入れる必要がある。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	保健福祉課

### (計画における位置づけ)

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	①	生涯を通じて心と体が健やかに暮らせる健康支援

### (取組事業の計画)

<b>番号</b>	<b>13</b>
<b>名称</b>	<b>働き盛り男性訪問事業 第Ⅱ期(平成29年度～ 開始)</b>
<b>内容</b>	45・50歳になる男性とその家族を訪問し、働き盛り年代の健康状況（健康状態・健診受診状況・医療受診状況等）や生活実態（生活習慣・労働・経済・地域とのつながり等）を把握し、町全体の健康課題として抽出・保健事業へ反映させる。（今年度は山倉小学校区対象）
<b>男女共同参画推進との関係</b>	町の健康課題である「働き盛り年代男性の生活習慣病」の背景にある生活実態には、家族・地域・職場等が関連しており、男女年代関係なく共に考えていく必要がある。
<b>実施に関係するデータの名称</b>	対象者数・訪問実施数・対象者本人との面談達成数
<b>成果に関係するデータの名称</b>	事業の展開状況（他事業での利用状況・新事業の企画状況） 訪問実施対象者の健診受診率・受療状況等

### (取組事業の評価)

<b>自己評価</b>	<b>4</b>	(評価基準) 5・・・十分に取組んだ(達成度9割前後) 4・・・概ね取組まれた(達成度8割前後) 3・・・一定程度取組まれた(達成度6割前後) 2・・・あまり取組まれていない(達成度3割前後) 1・・・全く取組まれていない(達成度が3割に満たない)
<b>男女共同参画推進との関係はどのよう に追及されたか</b>	働き盛り年代の受診率向上のため令和元年度より45・50・55歳の町民に健(検)診無料クーポンを配布。クーポン配布と合わせて家庭訪問を実施し、対象者のみでなくその家族も含め町民の生活・健康課題・受診状況の把握と健(検)診受診勧奨を効率良く実施することができた。	
<b>実施のデータ</b>	・令和2年度 山倉小学校区対象者58名で100%訪問（うち本人・家族と面談実施42名） ・令和3年度 蓮野小学校区対象者55名で100%訪問（うち本人・家族と面談実施32名） ・住民報告会は令和2年度はコロナのため中止。令和3年度は山倉小学校区の集落及び次第浜・汐美台を対象に実施。	
<b>成果のデータ</b>	・令和2年度本事業対象者598名、うち国保67名で特定健診無料クーポン券を利用して受診した者は45歳6名、50歳7名、55歳8名計21名（うち、新規受診者6名）訪問実施対象者で特定健診を受診した者1名 ・令和3年度本事業対象者527名、うち国保69名で特定健診無料クーポン券を利用して受診した者は45歳7名、50歳6名、55歳10名計23名（うち、新規新規受診者4名）訪問実施対象者で特定健診を受診した者6名 ・令和3年度住民報告会は対象者791名に対して132名参加（参加率16.7%）	
<b>課題</b>	核家族や転入家庭の増加、保健師の存在を知らない世帯も増え直接、面談することが難しくなっている。しかし、訪問対象者には会えなくても家族から情報を得て労働・健康状態を把握できたり、家屋や敷地を見るだけでも生活状況が推測できるため、訪問事業の継続が重要。また、働き盛り世代が倒れることで経済・精神的にも家族に与える影響は大きく、個人の責任・問題に終わらせることなく、住民と共有することで家族・地域・町全体で働き盛り世代の健康を考える必要がある。	
<b>次年度への改善点</b>	・訪問事業と住民報告会の継続。 ・訪問期間中に会えない場合でも長期的に見据え、訪問事業以外でも本人・家族に関わるチャンスがあった時に話を聞けるように常に働き盛り世代の健康について考え状況把握の意識をやる。 ・健診無料クーポン券と併せて日曜健診の周知と働き盛り世代を割り充てることで、更に受診意欲を促す。 ・成人歯科健診も対象年齢となるため、特定健診・がん検診受診と併せてPRし、生活習慣病予防と早期発見の意識付けになるよう対象となる健診の働きかけを行う。	



## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	教育未来課

### (計画における位置づけ)

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	①	生涯を通じて心と体が健やかに暮らせる健康支援

### (取組事業の計画)

番号	14
名称	学校における性教育の推進
内容	成長や発達段階に合わせた性教育を行います。
男女共同参画推進との関係	男女の生殖システムや機能を正しく理解することで、相互の違いを認め合い尊重しあう心を育むことに繋がる。
実施に関係するデータの名称	小・中学校の体育・保健体育授業において実施
成果に関係するデータの名称	授業によりどのような意識付けができたか調査を行わなければ成果を把握できない

### (取組事業の評価)

自己評価	4	(評価基準) 5・・・十分に取り組んだ(達成度9割前後) 4・・・概ね取り組まれた(達成度8割前後) 3・・・一定程度取り組まれた(達成度6割前後) 2・・・あまり取り組まれていない(達成度3割前後) 1・・・全く取り組まれていない(達成度が3割に満たない)
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階に応じて、学習指導要領に従って男女の性の違いについて学習を行った。</li> <li>○生命の誕生及び心身の発達・発育における男女差や個人差に関する基礎的事項</li> <li>○男女には体の特徴や発達段階に違いがあるが、互いに相手の人格を尊重し合うことが大切であること</li> <li>○家庭における役割は、男女の別なく分担し、互いに助け合うことが大切であること</li> <li>・心身の発育・発達には個人差があることに気づき、それらを肯定的に受け止め尊重し合う意識を高めることができた。</li> <li>・道徳の時間に、友達と協力し合い活動することの大切さを学習した。</li> </ul>	
実施のデータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年生の保健学習「育ちゆく体とわたし」の単元で、「体の発育・発達」(年齢に伴う変化、体の変化の個人差)、「思春期の体の変化」(男女の特徴、初経・精通、異性への関心)、「体をよりよく発育・発達させるための生活」(発育・発達させる適切な運動、食事、睡眠)について学習した。</li> <li>・高学年女子に関しては、宿泊を伴う行事前に、月経に関する指導を全体に対して行った。</li> <li>・中学校の保健体育の授業では、1年生で体の発育・発達について、3年生の性感染症の予防について学習した。また、2年生ではネット上の性被害・個人情報流出の危険性について、3年生ではエイズをはじめとする性感染症の予防や人工妊娠中絶について、外部講師を招いた性教育講演会も開催した。</li> </ul>	
成果のデータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女分け隔てなく活動することの大切さを感じ取り、協力して活動することができるようになっていく。</li> <li>・休み時間に仲良く遊ぶ姿がたくさん見られるようになっていく。</li> <li>・丁寧な見取りにより、いじめが多く認知されるようになった。それらの中で、特に、第二次性徴に関するからかい等のいじめは認知されていないことから、自他の性を受容し、性に関して自他を大切にしようとする心情や態度は育っていると考える。</li> <li>・児童の発言やワークシートの記述から、思春期における体の発育・発達の仕方や体をよりよく発育・発達させるためには適切な運動、食事、休養・睡眠が必要であることを理解させることができた。</li> <li>・授業や講演会後の感想では、「他人事ではなく自分事として考えていきたい」、「自分も相手も守る行動をしていきたい」、「将来のことを見据えた行動をとっていきたい」といった記述が多々見られ、真剣に考え学ぶことができていたことが伺えた。</li> </ul>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校での児童の様子を見取り、適切に指導していくことが難しい。</li> <li>・スボン下ろしが低学年で発生した。局部等を露出すること、させることがよくないという意識を今後も育てていく必要がある。</li> <li>・感染症対策のため外部講師を招いた授業や体験的な活動ができなかった。</li> </ul>	
次年度への改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間行事を見直し、いつ、どこで、どのような指導をしていくか明確にする。</li> <li>・道具を装着しての妊婦体験や妊婦さんとの触れ合いなど、具体的な体験があるとより効果的である。</li> <li>・スボン下し防止に関する指導を定期的に行っていく。</li> </ul>	



## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	長寿支援課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	②	あらゆる人が安心して暮らせる福祉サービスの充実

### （取組事業の計画）

番号	15
名称	介護普及啓発事業
内容	一般高齢者に対し地域で運動教室を行い、介護予防に努めます。
男女共同参画推進との関係	男性が参加しやすい雰囲気づくりに努め、男女の区別なく誰もがその人らしく過ごせる場所を提供する。
実施に関係するデータの名称	参加数 400人/年
成果に関係するデータの名称	男女の参加割合

### （取組事業の評価）

自己評価	3	<p>（評価基準）</p> <p>5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後）</p> <p>4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後）</p> <p>3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後）</p> <p>2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後）</p> <p>1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）</p>
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	男女の区別なく声掛けを行い、参加しやすい雰囲気づくりに努めたことで、高齢者の介護予防に寄与した。	
実施のデータ	いきいき健康体操への参加者数 R2…実人数253人、延べ人数1,066人 R3…実人数279人、延べ人数1,315人	
成果のデータ	男女別参加割合 R2…男性29人（約11.4%）、女性224人（約88.6%） R3…男性28人（約10.0%）、女性251人（約90.0%）	
課題	男女の区別なく参加の呼びかけを行ったが、依然として男性の参加割合が低い。また、コロナ禍の影響で参加者数が減少している。	
次年度への改善点	引き続き、男女の区別なく声掛けを行うことを継続しつつ、男性が気の合う仲間と一緒に参加することを促すなど、参加しやすい環境づくりを行う。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	長寿支援課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	②	あらゆる人が安心して暮らせる福祉サービスの充実

### （取組事業の計画）

番号	16
名称	2次予防事業対象高齢者等介護予防事業
内容	虚弱ではあるが介護認定に至らない高齢者（65歳以上）を対象に、運動機器等を使用し、下肢筋肉の向上を図ります。
男女共同参画推進との関係	男性が参加しやすい雰囲気づくりに努め、男女の区別なく誰もがその人らしく過ごせる場所を提供する。
実施に関係するデータの名称	参加人数 50人/年
成果に関係するデータの名称	男女の参加割合

### （取組事業の評価）

自己評価	3	<p>（評価基準）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後）</li> <li>4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後）</li> <li>3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後）</li> <li>2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後）</li> <li>1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）</li> </ul>
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	男女の区別なく声掛けを行い、利用しやすい雰囲気づくりに努めたことで、高齢者の介護予防に寄与した。	
実施のデータ	高齢者フレイル対策事業の利用人数 R2…実人数68人、延べ人数1,547人 R3…実人数72人、延べ人数2,097人	
成果のデータ	男女別利用割合 R2…男性20人（約29.4%）、女性48人（約70.6%） R3…男性14人（約19.4%）、女性58人（約80.6%）	
課題	男女の区別なく声掛けを行ったが、依然として男性の割合が低い。また、コロナ禍の影響で利用者数が減少している。	
次年度への改善点	引き続き、男女の区別なく声掛けを行うことを継続しつつ、男性が気の合う仲間と一緒に利用することを促すなど、利用しやすい環境づくりを行う。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	長寿支援課

### (計画における位置づけ)

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	②	あらゆる人が安心して暮らせる福祉サービスの充実

### (取組事業の計画)

番号	17
名称	いきがい型デイサービス事業
内容	認知症や閉じこもりのある高齢者が、運動や趣味、生きがい、レクリエーションを通して人と交流し、介護予防に努めます。
男女共同参画推進との関係	男性が参加しやすい雰囲気づくりに努め、男女の区別なく誰もがその人らしく過ごせる場所を提供する。
実施に関係するデータの名称	延べ参加人数 2,000人/年
成果に関係するデータの名称	男女の参加割合

### (取組事業の評価)

自己評価	3	(評価基準) 5・・・十分に取り組んだ(達成度9割前後) 4・・・概ね取り組まれた(達成度8割前後) 3・・・一定程度取り組まれた(達成度6割前後) 2・・・あまり取り組まれていない(達成度3割前後) 1・・・全く取り組まれていない(達成度が3割に満たない)
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	男女の区別なく声掛けを行い、利用しやすい雰囲気づくりに努めたことで、高齢者の介護予防に寄与した。	
実施のデータ	生きがい型デイサービス事業の利用人数 R2…実人数48人、延べ人数1,374人 R3…実人数43人、延べ人数1,377人	
成果のデータ	男女別利用割合 R2…男性5人(約10.4%)、女性43人(約89.6%) R3…男性3人(約7.0%)、女性39人(約93.0%)	
課題	男女の区別なく声掛けを行ったが、依然として男性の割合が低い。 また、コロナ禍の影響で利用者数が減少している。	
次年度への改善点	引き続き、男女の区別なく声掛けを行うことを継続しつつ、男性が気の合う仲間と一緒に利用することを促すなど、利用しやすい環境づくりを行う。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	社会教育課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	②	あらゆる人が安心して暮らせる福祉サービスの充実

### （取組事業の計画）

番号	18
名称	高齢者等の生きがいつくりの推進
内容	高齢者等が主体的に活動し、自立した生活が送れるよう生きがいつくりのための取組を進めます。
男女共同参画推進との関係	女性に限らず、男女がともに健康で励むことができ、社会参画できる。
実施に関係するデータの名称	高齢者大学の開講
成果に関係するデータの名称	講座の開催数

### （取組事業の評価）

自己評価	2	<p>（評価基準）</p> <p>5・・・十分に取組んだ（達成度9割前後）</p> <p>4・・・概ね取組まれた（達成度8割前後）</p> <p>3・・・一定程度取組まれた（達成度6割前後）</p> <p>2・・・あまり取組まれていない（達成度3割前後）</p> <p>1・・・全く取組まれていない（達成度が3割に満たない）</p>
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	<p>高齢者向けの主要事業である高齢者学級「聖山大学」については、令和2・3年度とも、コロナにより開催を見送った。</p> <p>ただし、公民館事業シニアコーラス（聖山大学OBを母体とした団体）については通年で行った。</p>	
実施のデータ	<p>聖山大学は令和2・3年度とも、コロナにより中止。</p>	
成果のデータ	<p>シニアコーラス</p> <p>R2：開催16回、延べ参加者324人</p> <p>R3：開催16回、延べ参加者324人</p>	
課題	<p>近年、聖山大学の参加希望者の減少が進む（参加依頼している老人クラブの会員減等により）。</p> <p>高齢者は新型コロナウイルスの感染リスクが高いため、内容の充実とともに感染対策の徹底が不可欠。</p>	
次年度への改善点	<p>現状の聖山大学は1年間メンバー固定の継続事業であるが、卒業生で再入学を認めることや、単発開催事業で受講者を通年で固定しない等、開催方法を検討し、参加者の増加につながるよう募集や周知方法について検討する必要がある。</p>	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	保健福祉課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	②	あらゆる人が安心して暮らせる福祉サービスの充実

### （取組事業の計画）

番号	19
名称	障がい者の社会復帰支援
内容	障がいがあっても、安心して地域で暮らしていくために、居場所及び社会復帰するための準備（リハビリ）の場をつくります。
男女共同参画推進との関係	障がい者の自立及び社会で共生するための支援を行うことであらゆる人が安心して暮らせる福祉サービスの充実を目指します。
実施に関するデータの名称	実施回数、参加者数
成果に関するデータの名称	参加者の内訳（障がい種別、家族、ボランティアなど）

### （取組事業の評価）

自己評価	3	<p>（評価基準）</p> <p>5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後）</p> <p>4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後）</p> <p>3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後）</p> <p>2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後）</p> <p>1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）</p>
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	障がいがあってもサービスに乗ることが出来ない方のための居場所になっている。男女に関係なく集まり、本人の出来ることやりたいことを生かしながら、週に1回参加者とスタッフ、ボランティアで過ごしている。	
実施のデータ	令和2年度 計39名、延べ参加者数296名 令和3年度 計35回、延べ参加者数270名	
成果のデータ	令和2・3年度参加者数内訳 身体障害者実5名・延べ288名、精神疾患・ひきこもり等実3名・延べ29名、家族実1名、延べ82名、家族会実1名・延べ58名、ボランティア実2名・延べ120名。	
課題	障害を持ちながら地域で生活をする方の居場所となっている。参加者は身体障害の方は体調が一定であるため、継続参加しやすいが、精神疾患を持つ方は体調が一定でないため自身の体調に合わせて参加している。休みが続いたとしても次回参加時に居心地の良い場になることを目指している。	
次年度への改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスにつなげられない方が通える場になっている。参加が必要な方がいたら会に誘い見学から開始し、参加につながるよう会に慣れるまでサポートする。（特に精神疾患）</li> <li>・参加者への適切な支援を行いながら主体的に活動ができるよう声掛けをしていく。</li> </ul>	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	保健福祉課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	②	あらゆる人が安心して暮らせる福祉サービスの充実

### （取組事業の計画）

番号	20
名称	精神障がい者のための交流支援
内容	障がいがあっても、自立を目指しながら安心して地域で暮らすために当事者同士の交流を支援する。また、当事者の親・家族同士のつながり、共に学び合いながら地域へ啓発する活動を支援する。
男女共同参画推進との関係	障がい者の自立及び社会で共生するための支援を行うことであらゆる人が安心して暮らせる福祉サービスの充実を目指します。
実施に関するデータの名称	実施回数、参加者数
成果に関するデータの名称	参加者の内訳、内容

### （取組事業の評価）

自己評価	3	<small>（評価基準）</small> 5・・・十分に取組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取組まれていない（達成度が3割に満たない）
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	障がいがあっても地域で安心して暮らすために当事者同士の交流を支援する。当事者の親・家族同士のつながりが男女に関係なく共に考え、学びながら、支え合う機会になっている。	
実施のデータ	令和2年度 当事者茶話会 2回 計8名、野外活動 1回 計7名 令和3年度 当事者茶話会 2回 計8名、野外活動 1回 計7名	
成果のデータ	当事者本人4名、家族4名、令和3年度主体的な活動につなげることが出来るように、当事者会のネーミングを当事者本人達に考えてもらい、全員で当事者会のネーミングを決めた。	
課題	現在当事者会は事務局が企画し、当日の運営も行っているが将来的には当事者で運営できるよう力をつけていきたいと考えており、少しずつステップアップ出来るよう計画を立てていく。精神障害の方はその日の体調により、本来持っている力を発揮できないこともあるため、当事者の体調の良い時と悪い時の特徴をつかんでいくことも課題である。	
次年度への改善点	・当事者の交流を積み重ねながら、まずは保護者同士が何でも話せる雰囲気づくりが必要 ・当事者や家族が会で「話を出来て良かった」「皆に聴いてもらって良かった」という体験をしてもらい、言葉にして参加者にフィードバックしていきけるようサポートしていく。	



## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	保健福祉課

### (計画における位置づけ)

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	②	あらゆる人が安心して暮らせる福祉サービスの充実

### (取組事業の計画)

番号	21
名称	福祉タクシー及び自動車燃料費扶助
内容	障がいがあっても、自立と社会参加のために移動手段の支援を行います。
男女共同参画推進との関係	障がい者の自立及び社会で共生するための支援を行うことであらゆる人が安心して暮らせる福祉サービスの充実を目指します。
実施に関係するデータの名称	対象者数、申請件数、交付枚数、使用枚数、広報回数
成果に関係するデータの名称	助成金額、助成人数、申請率、使用率、

### (取組事業の評価)

自己評価	4	(評価基準) 5・・・十分に取組んだ(達成度9割前後) 4・・・概ね取組まれた(達成度8割前後) 3・・・一定程度取組まれた(達成度6割前後) 2・・・あまり取組まれていない(達成度3割前後) 1・・・全く取組まれていない(達成度が3割に満たない)
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	障がいがあっても、自立と社会参加のために移動手段の支援をおこないます。	
実施のデータ	対象者数438人 申請件数299件(燃料券232件、タクシー券60件)、交付枚数5,961枚(燃料券3,924枚、タクシー券2,037枚)、使用枚数5,146枚(燃料券3,729枚、タクシー券1,417枚)、広報回数 2回	
成果のデータ	対象者数394人 申請件数291件(燃料券222件、タクシー券69件)、交付枚数5,901枚(燃料券3,603枚、タクシー券2,298枚)、使用枚数4,924枚(燃料券3,443枚、タクシー券1,481枚)、広報回数 2回 [令和2年度] 対象者数438人 申請件数299件(燃料券232件、タクシー券60件)、交付枚数5,961枚(燃料券3,924枚、タクシー券2,037枚)、使用枚数5,146枚(燃料券3,729枚、タクシー券1,417枚)、広報回数 2回 [令和3年度]	
課題	障がい者の自立及び社会参加の促進として事業を行っているが、申請率は68.3%と向上してきているが、今後も事業を必要としている方への周知が課題となっている。	
次年度への改善点	町広報により周知を行っているが、今後も継続的に行い、事業を必要とする方に対する申請漏れが無いように努める。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	長寿支援課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	②	あらゆる人が安心して暮らせる福祉サービスの充実

### （取組事業の計画）

番号	22
名称	介護手当事業における介護者の負担軽減支援①
内容	要介護3以上の者と同居している家族に、介護に伴う費用の助成として介護者手当を支給し、経済的な負担の軽減を図ります。
男女共同参画推進との関係	課税世帯 5,000円/月、非課税世帯 10,000円/月とし、非課税世帯へより多く支給することにより経済的な負担の軽減を図っている。
実施に関係するデータの名称	申請件数・支給件数
成果に関係するデータの名称	支給率（支給件数/申請件数）

### （取組事業の評価）

自己評価	5	<p>（評価基準）</p> <p>5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後）</p> <p>4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後）</p> <p>3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後）</p> <p>2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後）</p> <p>1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）</p>
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	要介護3以上の方を介護している同居家族に手当金を支給したことにより、経済的な負担軽減を図ることができた。	
実施のデータ	R2…申請件数：111件（認定済み：71件、新規申請：40件）・支給件（対象者）数：111件 R3…申請件数：95件（認定済み：56件、新規申請：39件）・支給件（対象者）数：95件	
成果のデータ	R2…100%（111件/111件）…課税世帯：71件、非課税世帯：40件 R3…100%（95件/95件）…課税世帯：57件、非課税世帯：38件	
課題	引き続き申請漏れがないようにする。特に入院・入所中の人が自宅へ退院・退所した際の申請漏れに注意が必要。	
次年度への改善点	引き続き新規対象者への案内及びケアマネジャーからの案内を徹底する。ケアマネジャーに対しては、ケアマネジャー連絡会議等において当該制度の周知徹底を図る。	

# 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	保健福祉課

## (計画における位置づけ)

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	②	あらゆる人が安心して暮らせる福祉サービスの充実

## (取組事業の計画)

番号	22
名称	介護手当事業における介護者の負担軽減支援②
内容	日常生活において常時介護を必要とする重度の状態にあり、おおむね知能指数35以下の者又は、身体障害者手帳 1, 2級、精神障害者保健福祉手帳を1, 2級、のいずれかに該当する者のうち、要綱に定められた調査票を用い審査し該当と認められた者に対し、介護に伴う費用の助成として介護者手当を支給し、経済的な負担の軽減を
男女共同参画推進との関係	課税世帯 5,000円/月、非課税世帯 10,000円/月とし、非課税世帯へより多く支給することにより経済的な負担の軽減を図っている。
実施に関係するデータの名称	申請件数・支給件数
成果に関係するデータの名称	支給率（支給件数/申請件数）

## (取組事業の評価)

自己評価	3	(評価基準) 5・・・十分に取り組んだ(達成度9割前後) 4・・・概ね取り組まれた(達成度8割前後) 3・・・一定程度取り組まれた(達成度6割前後) 2・・・あまり取り組まれていない(達成度3割前後) 1・・・全く取り組まれていない(達成度が3割に満たない)
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	在宅の重度の心身障がい者を居家で介護している方に介護手当を支給することにより、在宅の重度心身障がい者の福祉の増進を図っている。 また、手帳交付時等において、障がい福祉サービスガイドを配布して周知を図っている。	
実施のデータ	申請件数 13件、支給件数 13件、支給額 課税世帯 月5,000円、非課税世帯 月10,000円 広報回数 1 【実績】令和2年度・・・15件、令和3年度16	
成果のデータ	支給率 100% (支給件数13件/申請件数13件)	
課題	一度申請対象にならなかった者が状態の悪化により、再度調査票による審査を行った際に対象となる可能性があり、対象とならなかった者の状態の把握ができていないため、潜在的な対象者となっている可能性がある。	
次年度への改善点	引き続き、障がい者相談員と連携し、情報共有を図るとともに広報等により制度の周知を図る。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	保健福祉課

### (計画における位置づけ)

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	②	あらゆる人が安心して暮らせる福祉サービスの充実

### (取組事業の計画)

番号	23
名称	ひとり親家庭等医療費助成
内容	申請漏れのないよう相談窓口を周知し、医療費助成を実施することにより経済的支援を図ります
男女共同参画推進との関係	性別にかかわらず負担軽減となります
実施に関するデータの名称	申請件数・助成件数
成果に関するデータの名称	助成率（助成件数/申請件数）

### (取組事業の評価)

自己評価	5	(評価基準) 5・・・十分に取組んだ(達成度9割前後) 4・・・概ね取組まれた(達成度8割前後) 3・・・一定程度取組まれた(達成度6割前後) 2・・・あまり取組まれていない(達成度3割前後) 1・・・全く取組まれていない(達成度が3割に満たない)
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	ひとり親の対象者は児童扶養手当の受給者とほぼ条件が同じ為、児童扶養手当の申請後にひとり親の窓口を案内してもらい、申請漏れがないようにしている。	
実施のデータ	申請件数：3,152件・助成件数：3,152件(R2年度) 申請件数：3,270件・助成件数：3,270件(R3年度)	
成果のデータ	申請件数：3,152件・助成件数：3,152件 助成率100%(R2年度) 申請件数：3,270件・助成件数：3,270件 助成率100%(R3年度) (対象者の方には受給者証を交付し、医療機関へ受診する際は現物給付となる為)	
課題	児童扶養手当申請(子ども教育課)をした後、ひとり親申請(保健福祉課)の流れを作っているが、申請をしない人がいる。	
次年度への改善点	引き続き今後も子ども教育課の児童扶養手当担当者と連携を図り、申請漏れが無いよう制度周知を図る。また、町民課に「制度周知パンフレット」を配置するとともに、町民課職員から該当者に対し、保健福祉課で手続きが必要なことを説明してもらう。(平成31年1月から実施)さらに、地区担当保健師からも該当者に対し、制度の説明を行う。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	保健福祉課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	③	子育て・介護支援

### （取組事業の計画）

番号	24
名称	<b>あそび教室の開催 【療育教室】（昭和53年～ 開始）</b>
内容	1歳6か月～就園前の子どもと父母祖父母を問わず保育する者を対象に、親子あそび・リズムあそびなどを通して、母子愛着関係の構築と身体発達・精神発達を支援する。また、保育する者同士の仲間づくりの機会とし、地域のつながりを強化。
男女共同参画推進との関係	父母・家族全員がともに子育てに携わり、子育て世代の直面する悩みや課題を緩和し、家庭に反映させることで、子どもたちの生涯を通じた健康づくりの基礎構築が期待できる
実施に関係するデータの名称	開催数・参加者数
成果に関係するデータの名称	参加者の声（参加者の満足度・悩みの緩和・感想・母子関係の変化・家族関係の変化等）

### （取組事業の評価）

自己評価	3	<small>（評価基準）</small> 5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	例年通り5月から教室を開始。コロナウイルス流行により、11回休止せざるを得なかったが、継続的に親子・家庭を支援している。父親や祖母参加など母親だけでなく保育者も参加することで家族全員で育児をすることが意識付けられた。	
実施のデータ	実施26回、参加者数(延)320人 男性参加者実人5数、延人数14人、割合は4.37%。	
成果のデータ	日中保育者が父である場合と父が休みを利用し参加する親子がいた。母以外の保育者がいることで、周りの親子にとっていい刺激になっている。	
課題	ほとんどの子ども達が保育園に入園しており、教室参加対象となる親子自体が減少。男女共同参画の評価対象としてふさわしいのかどうか検討が必要。	
次年度への改善点	教室での場面や参加者への通信にて家族全員の協力参加を促す。また、8割ほど入園しているため、新規参加者の開拓が必要。参加勧奨や教室事後フォロー等の保健師さんの家庭訪問による呼びかけ・指導・広報による親子あそびの大切さの普及啓発を引き続き行っていく。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	子ども教育課

### (計画における位置づけ)

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	③	子育て・介護支援

### (取組事業の計画)

番号	25
名称	子育て支援サービスの継続
内容	保護者の就業形態の多様化に合わせ、こども園、放課後児童クラブにおける延長保育や一時預かり保育の継続実施を行う。
男女共同参画推進との関係	園児や児童が安全で快適に過ごせる環境整備をすることにより、保護者の就業機会の提供と就業時間増の支援ができる。
実施に関するデータの名称	預かり保育・児童クラブ利用希望者数
成果に関するデータの名称	希望者数に対する受け入れ者数（達成率）

### (取組事業の評価)

自己評価	5	(評価基準) 5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	園児や児童が安全で快適に過ごせる環境を提供することで、保護者の就労継続と就業時間増について支援を行った。	
実施のデータ	町立こども園における預かり保育並びに児童クラブ利用希望者すべてを受け入れ、サービスを提供した。	
成果のデータ	利用希望者に対する受け入れ者数（100%）	
課題	児童クラブ利用希望者数の増に比例し、支援（介助）の必要な児童の利用希望も増えてきているため、職員配置を万全に整える必要がある。	
次年度への改善点	児童クラブについて、利用者状況に応じた職員配置を確保するため、職員管理を徹底し、将来的な見通しをもって雇用を計画する必要がある。	



## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	社会教育課

### (計画における位置づけ)

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	③	子育て・介護支援

### (取組事業の計画)

番号	26
名称	預かり保育事業の充実
内容	子育てする人が、学習・講座などにより参加しやすくなるように、預かり保育事業の充実を図ります。
男女共同参画推進との関係	子育て世代が、社会参画できるよう支援する。
実施に関係するデータの名称	預かり保育事業の参加者数・保育ルーム利用者数
成果に関係するデータの名称	預かり保育事業に参加した女性の割合・参加者の満足度

### (取組事業の評価)

自己評価	5	(評価基準) 5・・・十分に取組んだ(達成度9割前後) 4・・・概ね取組まれた(達成度8割前後) 3・・・一定程度取組まれた(達成度6割前後) 2・・・あまり取組まれていない(達成度3割前後) 1・・・全く取組まれていない(達成度が3割に満たない)
男女共同参画推進との関係はどのよう に追及されたか	「小学校子育て講座(3小学校全3回)」をはじめ、子育て期の保護者向けの様々な講座を行い、希望制の保育ルームを設置した。	
実施のデータ	R2:「子育て講座」参加者128人・保育ルーム6人、「かばん作り講座」参加者のべ66人・保育ルームのべ48人、「家計お勉強室」参加者15人・保育ルーム8人、「美文字教室」参加者26人・保育ルーム0人、「アンガーマネジメント教室」参加者8人・保育ルーム2人 R3:「子育て講座」参加者136人・保育ルーム子ども2人、「整理収納片づけ講座」参加者20人・保育ルーム子ども2人、「大人の筆ペン教室」参加者59人・保育ルーム0人、「大人のぬりえ教室」参加者3人・保育ルーム0人、「ハンドメイド講座」参加者のべ14人・保育ルームのべ12人、「ママむけ体操教室」参加者7人・保育ルーム6人	
成果のデータ	R2:「子育て講座」女性92%(女性118名)満足度84%、「かばん作り講座」女性100%満足度100%、「家計お勉強室」87%(女性13名)満足度14%、「美文字教室」女性92%(女性24人)満足度92%、「アンガーマネジメント教室」女性88%(女性7名)満足度100% R3:「子育て講座」女性98%(女性133名)満足度84%、「整理収納片づけ講座」女性100%(女性20名)満足度92%、「大人の筆ペン教室」女性93%(女性55人)満足度100%、「大人のぬりえ教室」女性100%(女性3名)満足度100%「ハンドメイド講座」女性100%(女性のべ14人)満足度100%、「ママむけ体操教室」女性100%(女性7人)満足度未集計	
課題	子育て世代を対象とする事業に対し、保育ルームを設置しているが、利用率は講座によりかなり差がある。 「保育ルームがあれば参加したい」との声もあるので、今後も進んで設置すべきと考える。	
次年度への改善点	利用者の利便性向上や子育て世代に生涯学習の機会を提供するという点からも、今後も設置すべきと考える。保育ルームが利用できる旨はチラシに掲載しているが、子育て世代がより参加しやすいよう周知していく。	

# 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	教育未来課

## (計画における位置づけ)

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	③	子育て・介護支援

## (取組事業の計画)

番号	27
名称	子ども家庭相談窓口の充実
内容	0～18歳までの子どもとその家族を対象とした相談業務の充実を図ります。
男女共同参画推進との関係	悩みを一人で抱えず相談窓口を利用することで、新たな支援策や早期解決に繋がり、本人や家族の社会活動への参加の機会が増える。
実施に関係するデータの名称	相談件数
成果に関係するデータの名称	示すことは難しい

## (取組事業の評価)

自己評価	4	(評価基準) 5・・・十分に取り組んだ(達成度9割前後) 4・・・概ね取り組まれた(達成度8割前後) 3・・・一定程度取り組まれた(達成度6割前後) 2・・・あまり取り組まれていない(達成度3割前後) 1・・・全く取り組まれていない(達成度が3割に満たない)
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	年々子どもを取り巻く環境が複雑化している。保護者、関係機関からの相談内容も多岐にわたっているため関係機関とのネットワークの強化を図り、問題解決に取り組んでいる。相談者が心身ともに落ち着き、社会活動の参加が可能となるように務めた。	
実施のデータ	相談件数 令和2年度 実件数460件(男:264 女:196) 令和3年度 実件数477件(男:281 女:196) 出典:福祉行政報告例	
成果のデータ	継続案件もあることから示すことは困難なため、HPで公開はしていない。	
課題	毎年相談件数が増加していることから、体制強化と関係機関との連携を図っていく。	
次年度への改善点	子ども家庭相談センターの機能をPRし、相談しやすい体制を整える。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	産業観光課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	③	子育て・介護支援

### （取組事業の計画）

番号	28
名称	育児や介護休業制度等の普及啓発
内容	町内の商工業者等に対し、育児や介護休業制度等の普及・啓発に努めます。
実施指標（out put）	制度等について、町広報誌やHPに掲載。（随時）
実施に関するデータの名称	町広報誌やHPの掲載回数、掲載種類
成果に関するデータの名称	事業所及び町民へのアンケートでの実施・利用状況及び理解度

### （取組事業の評価）

自己評価	2	<small>（評価基準）</small> 5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）
成果の内容	町広報誌に令和2年度「育児・介護休業法の制度」、令和3年度「育児・介護休業法改正のポイント」の掲載を行った。 また、毎月商工会員にお知らせ等を発送する定期便にもチラシを入れてもらい啓発を図っている。	
実施のデータ	町広報誌には令和2年度2回、令和3年度1回掲載。 商工会へは定期便に入れてもらい、チラシを配布し周知した。	
成果のデータ	未実施	
課題	成果の手段としてアンケートを実施する。	
次年度への改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報誌掲載が1回だったため、今後は積極的に情報を収集するようにする。</li> <li>・ 広報だけでなく商工会を通じて町内の商工業者等にチラシを継続して配布ための啓発を行う。</li> <li>・ 成果の手段としてアンケートを実施する（利用状況・理解度等）</li> </ul>	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	社会教育課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	④	男性の家事・育児・介護への参画

### （取組事業の計画）

番号	29
名称	家庭生活への男性の参画促進のための教室
内容	家庭生活への男性のさらなる参画促進を図るため、家事・育児介護に関する講座・教室を開催します。
実施指標（out put）	男性を対象とした講座を企画し、実施する。（年1回）
実施に関するデータの名称	講座の開催数、参加者数
成果に関するデータの名称	研修終了後のアンケートの満足度

### （取組事業の評価）

自己評価	3	<small>（評価基準）</small> 5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）
成果の内容	R2年度は11月8日に「子育て期の家計お勉強室」、2月6日に「パパ・ママのためのアンガーマネジメント教室」を開催。男性の参加者はそれぞれ1名にとどまった。R3年度は男性の家事（料理）への関心を高めることを目的として「ご馳走おにぎり教室」を企画したが、コロナにより中止。	
実施のデータ	R2：講座回数2回、参加者数計23名・うち男性2名 R3：コロナにより中止	
成果のデータ	R2：「子育て期の家計お勉強室」満足度14%、「アンガーマネジメント」満足度100%（満足・やや満足で） R3：コロナにより中止	
課題	若年層や子育て世代の男性の講座申込者が少ない。	
次年度への改善点	男性の育児や家庭への関心を高めるための講座のニーズを検討し、講座内容や参加しやすい日時設置について検討する。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	保健福祉課

### (計画における位置づけ)

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	④	男性の家事・育児・介護への参画

### (取組事業の計画)

番号	30
名称	育児学級・妊婦学級・乳幼児健診
内容	健全な発達・育児体制に向けた意識づけ、知識の普及、支援が必要な児・家庭の早期発見・早期対応
男女共同参画推進との関係	子どもの健全な発達成長には母親だけでなくパートナー・父親・家族全体の意識と理解が重要であり、母子保健事業に家族がどなたでも参加できる体制を作ります。
実施に関係するデータの名称	事業の開催数・参加者数・対象児に対する参加率・受診率
成果に関係するデータの名称	受診（参加）ケースの課題（乳幼児健診の結果・教室参加者の声満足度等）、男性の参加率

### (取組事業の評価)

自己評価	4	(評価基準) 5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	4月より各教室や健診を開催。育児学級、妊婦学級は、感染対策のため参加人数を制限しており、父親参加はなかったが、乳幼児健診には父親参加もみられた。母親だけが育児を行うのではなく、家庭内で協力して受診する体制となっている家庭が増えている。	
実施のデータ	R2年度マタニティ教室開催回数6回・参加人数28人(参加率17.7%)、育児学級6回・39人(35.4%)、全乳幼児健診合計24回・526人(受診率99.0%)参加。 R3年度マタニティ教室開催回数6回・参加人数22人(参加率17.1%)、育児学級6回・51人(34.9%)、全乳幼児健診合計24回・513人(受診率97.5%)参加。	
成果のデータ	R2年度は、乳幼児健診での男性の参加割合は、延17人(2.8%) R3年度は、乳幼児健診での男性の参加割合は、延26人(5.0%) 育児学級、妊婦学級での父親の参加は、R2年度は1名、R3年度はなかった。 父親参加が年々増加傾向である。	
課題	新型コロナウイルス流行中の2年だったが、マタニティ教室では父親1名の参加があった。しかし父が来ることでマタニティ時代の母達の体の悩みや、夫の事など話せる雰囲気ではなくなってしまっていると感じている。父親の参加も大事だが、ママたちの交流の場も兼ねて考えるとマタニティ教室では男性参加を促すのは検討する必要があると考える。	
次年度への改善点	今後も各教室の通知などで男性、祖父母等の家族の参加の呼びかけを継続していく。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	総務課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	⑤	DVや性的な暴力の根絶

### （取組事業の計画）

番号	31
名称	DVや性的暴力の根絶に向けた意識啓発
内容	DVや性的暴力を許さない社会を作るため、広報活動による意識啓発を行います。
実施指標（out put）	広報誌・HPへの掲載（各年3回）
実施に関するデータの名称	広報誌・HPへの掲載回数
成果に関するデータの名称	町民の意識に係る事項のため、町民意識調査等によって、その理解度を図る必要がある。

### （取組事業の評価）

自己評価	3	<small>（評価基準）</small> 5・・・十分に取組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取組まれていない（達成度が3割に満たない）
成果の内容	R2:広報の男女共同参画通信のコーナーでDVとその相談窓口について取り上げた。（3回） R3:広報の男女共同参画通信のコーナーでDVとその相談窓口について取り上げた。（3回）	
実施のデータ	広報せいろくに3回掲載	
成果のデータ	前回調査時（R元）と比較すると、配偶者または恋人から攻撃を受けたことがある人の割合が大きく変化がなかったが、暴力を受けた際に、相談窓口があることを知っている人の割合が20.6%増加した（令和3年度町民意識調査）	
課題	HPを活用していなかった。	
次年度への改善点	・広報だけでなくHP等を活用し、町民に対して啓発を行う。	



## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	保健福祉課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅱ	「人と人・男と女」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	⑤	DVや性的な暴力の根絶

### （取組事業の計画）

番号	32	
名称	相談・保護対策の推進	
内容	DV、ストーカーなどの被害者からの相談に対応できるよう、相談体制の充実と関係機関等との連携を図ります。	
実施指標（out put）	相談窓口の周知（HP/広報）関係者によるケース会議やケース学習会の開催。個別支援と関係機関との関わりについてケースワークの検証。	
実施に関係するデータの名称	○年間支援回数（延べ）※ケース実数は非公表      ○連携課、機関数※機関名等は非表示 ○ケース学習会・検討会の開催の有無      ○相談窓口の広報回数	
成果に関係するデータの名称	相談内容の解決状況・継続相談状況	

### （取組事業の評価）

自己評価	3	<p>（評価基準）</p> <p>5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後）</p> <p>4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後）</p> <p>3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後）</p> <p>2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後）</p> <p>1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）</p>
男女共同参画推進との関係はどのよう に追及されたか	支援を受けるべき人が相談につながり、関係機関連携の下解決し、次の生活相談につなげることができたのは事業の成果と言える。しかし、「DV事案」への対応は後追いの支援であり、「DVが起きない社会」にするための取組みの充実が最重要である。	
実施のデータ	令和2年度・3年度の2年間の相談延べ回数160回（実人数は未公表） 連携機関数20か所、延べ回数201回	
成果のデータ	令和2年度・3年度の2年間の相談実人数に対し、73.7%のケースが解決済。	
課題	今後もDVケースは増加すると思われ、子どもがいる場合は面前DVによる児童虐待に発展するため担当課との密な情報共有の継続が重要。 DV相談は、被害者の特徴からも解決までかなりの時間を有し、かつ当事者の受け止めのずれから別のトラブルに発展する場合もあるため、支援者はかなり労力を消費する。	
次年度への改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世帯等に関わる各専門職は子どもの姿のみでなく家族状況にも目を向け、家庭まるごと支援する意識を今後も継続する。</li> <li>・些細な事でも相談しやすい窓口の周知を徹底する。</li> <li>・支援者が一人で抱え孤立しないよう、関係者でチームを組む支援体制を作る必要がある。</li> </ul>	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	町民課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅱ	「人と人・男性と女性」の人権が尊重され平等に暮らせるまちづくり
重点目標	⑤	DVや性的暴力の根絶

### （取組事業の計画）

番号	32
名称	相談・保護対策の推進②
内容	DV、ストーカーなどの被害者からの相談に対応できるよう、相談体制の充実と関係課等との連携を図ります。加えて、相談窓口の周知に努めます。
男女共同参画推進との関係	婚姻や離婚において、男女間の意識のずれを解消し、長期的には平穏な生活につなげていくことができる。
実施に関するデータの名称	年間相談者数
成果に関するデータの名称	住民記録閲覧制限申請者数

### （取組事業の評価）

自己評価	3	<small>（評価基準）</small> 5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	離婚届の際に来庁した妻から相談があった場合に、居所を追求されない救済制度（新旧の住所地や本籍がある市町村区が連携して、住民票や戸籍等の交付を加害者の請求から拒むことを共同で取り組む制度）があることを、パンフレット配布により紹介できた。	
実施のデータ	住民基本台帳事務における支援訴追申出件数 9件	
成果のデータ	同上	
課題	必要以上に個人のプライバシーに踏みこまないよう支援に取り組む必要がある。	
次年度への改善点	既存のパンフレットのみならず、独自のチラシ製作にも取り組みたいと考える。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	総務課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅲ	「人と人・男性と女性」が活躍できる環境づくり
重点目標	①	政策、方針決定への女性の参画促進

### （取組事業の計画）

<b>番号</b>	<b>33</b>
<b>名称</b>	<b>審議会等への女性の積極的な登用</b>
<b>内容</b>	各種審議会や委員会への女性の参加が促進されるよう、関係各課等への働きかけを行いながら、女性の積極的な登用を推進します。
<b>実施指標（out put）</b>	男女共同参画推進員を活用し、関係課・関係団体への働きかけ（年4回）
<b>実施に関するデータの名称</b>	関係課・関係団体への働きかけの回数
<b>成果に関するデータの名称</b>	審議会等の委員数における女性の割合、女性のいない審議会数

### （取組事業の評価）

<b>自己評価</b>	<b>4</b>	<small>（評価基準）</small> 5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）
<b>成果の内容</b>	R3に設置した各所属の職員により構成される男女共同参画推進員会議にて審議会等への女性の参加促進呼びかけを行ったところ、審議会等の委員数における女性の割合及び女性のいる審議会数が増加した。	
<b>実施のデータ</b>	R2:実施なし R3:男女共同参画推進会議 2回（対面開催1回、書面開催1回）	
<b>成果のデータ</b>	審議会等の委員数における女性の割合21.3%（2017年19.3%）と目標の30%には満たないが若干増加した。女性のいない審議会数6で変わらない。	
<b>課題</b>	委員委嘱の際に男女比を検討しないまま、委員を継続している審議会等がみられるため、任期満了の際には新たに男女比を検討したうえで、委員を委嘱するよう引き続き、呼びかけを行う。	
<b>次年度への改善点</b>	徐々に審議会の女性登用の意識が醸成されていると思われるので、引き続き男女共同参画推進会議や庁議等のタイミングで呼びかけてもらうなど、働きかけの回数を増やす。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	総務課

### (計画における位置づけ)

基本目標	Ⅲ	「人と人・男と女」が活躍できる環境づくり
重点目標	①	政策、方針決定への女性の参画促進

### (取組事業の計画)

番号	34
名称	女性職員の人材育成
内容	町の女性職員の更なる活躍促進や、将来的なリーダーの育成を図るため、研修の機会を提供します。
実施指標 (out put)	女性職員を対象とした研修への派遣 (年1回)
実施に関するデータの名称	研修への派遣回数、派遣人数
成果に関するデータの名称	研修後の受講者の満足度

### (取組事業の評価)

自己評価	2	<small>(評価基準)</small> 5・・・十分に取り組んだ (達成度9割前後) 4・・・概ね取り組まれた (達成度8割前後) 3・・・一定程度取り組まれた (達成度6割前後) 2・・・あまり取り組まれていない (達成度3割前後) 1・・・全く取り組まれていない (達成度が3割に満たない)
成果の内容	女性財団が主催する女性のキャリアアップセミナーを掲示板等で定期的に案内し、女性のキャリアアップを考える意識づけになった。 女性職員へ何が要因で参加人数が少ないのか、個別ヒアリングを行った。	
実施のデータ	R2・R3：派遣回数、人数ともに0 女性職員への個別ヒアリング	
成果のデータ	受講者なし	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日だけでなく、土日のセミナーの案内も行ったが、受講人数は0人であった。</li> <li>・個別ヒアリングを行った結果、土日のセミナーは子育てが忙しかったり、平日は業務に追われて研修に行くことができないとの声が聞かれた。</li> <li>・女性職員にもスキルアップの意欲を持ってもらい、望めば参加できる職場の環境・雰囲気作りが必要。</li> </ul>	
次年度への改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性のキャリアアップセミナーだけでなく、男性も女性も興味持ってもらえるような様々なセミナーを案内し、男性・女性も隔たりなくキャリアアップにつなげていきたい。</li> <li>・掲示板での案内に加え、所属長から積極的に所属の女性職員を派遣するような職場の雰囲気をつくりたい。</li> </ul>	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	総務課

### (計画における位置づけ)

基本目標	Ⅲ	「人と人・男と女」が活躍できる環境づくり
重点目標	①	政策、方針決定への女性の参画促進

### (取組事業の計画)

番号	35
名称	二つの特定事業主行動計画の推進
内容	町の女性職員の活躍を推進するため、聖籠町女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画に取り組みます。併せて、職員誰もが働きやすい職場環境を醸成できるよう聖籠町次世代育成支援特定事業主行動計画の取組も進めます。
実施指標 (out put)	研修への派遣(年1回)、休暇取得促進・定時退庁の働きかけ回数(年12回)、男性育児支援休暇取得促進の働きかけ(個別)
実施に関するデータの名称	研修への派遣回数、休暇取得促進・定時退庁の働きかけ回数
成果に関するデータの名称	女性職員の課長級、課長補佐級及び係長級に占める割合 育児休業等の取得率、超過勤務時間、年次休暇取得日数

### (取組事業の評価)

自己評価	4	(評価基準) 5・・・十分に取組んだ(達成度9割前後) 4・・・概ね取組まれた(達成度8割前後) 3・・・一定程度取組まれた(達成度6割前後) 2・・・あまり取組まれていない(達成度3割前後) 1・・・全く取組まれていない(達成度が3割に満たない)
成果の内容	・男性職員の育児休業取得の意向について個別ヒアリングを行った際、近隣市町村の取得状況等の説明により、前向きに取得する意識づけとなった。	
実施のデータ	・休暇取得促進・定時退庁の働きかけは随時。 ・毎週水曜日をノー残業デーとしている。 ・上司が自ら定時退庁や年休取得の呼びかけを行っている。	
成果のデータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性職員の課長級12.5%、補佐級50.0%、係長級47.1% (※こども園、図書館を含む)</li> <li>・育児休業率女性100% (3人) 男性0% (0人)、超過勤務時間月平均8.2時間、年次休暇取得日数平均10日、男性の育児参加休暇1名 [令和2年度]</li> <li>・女性職員の課長級13.6%、補佐級42.3%、係長級52.2% (※こども園、図書館を含む)</li> <li>・育児休業率 女性100% (2人) 男性0% (0人)、超過勤務月間平均9.1時間、年次休暇取得日数平均10日、男性の育児参加休暇2人 [令和3年度]</li> </ul>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性の育児休業取得取得者がいない</li> <li>・業務の都合上、育児参加・休暇等を取付できない職員がいる。</li> </ul>	
次年度への改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性の配偶者出産休暇・育児参加休暇100%を目指し、所属長は男性職員の意向に基づき当該休暇が取得しやすいよう課内体制の環境整備を行う。</li> <li>・対象職員が取得できるよう個別ヒアリングを継続する。</li> </ul>	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	社会教育課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅲ	「人と人・男と女」が活躍できる環境づくり
重点目標	②	女性の能力開発

### （取組事業の計画）

番号	36
名称	研修・セミナーの情報提供
内容	女性の人材育成にかかる国、県等が行う研修・セミナー情報を提供する。
実施指標（out put）	社会教育だよりにより掲載（年1回）
実施に関するデータの名称	研修・セミナーのPR広報、事業紹介の回数
成果に関するデータの名称	研修・セミナーのPR広報、事業紹介の回数

### （取組事業の評価）

自己評価	4	<small>（評価基準）</small> 5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）
成果の内容	広報の『社教だより』で「男女共同参画社会」や「人権意識度チェック」について広報を行った。 また、男女平等普及ポスターや家庭教育・子育てポスター、男女共同参画社会普及の冊子や人権講演会のチラシについては町民会館を中心に社会教育施設に設置した。	
実施のデータ	社会教育だより掲載（R2は2回、R3は1回）、チラシ・ポスターの設置は随時	
成果のデータ	同上	
課題	社会教育だよりへの国県の研修等の掲載については依頼があれば検討するが、紙面枚数上や募集期間もあり、掲載は難しい場合が多い。	
次年度への改善点	今後も社教だよりや施設へのポスター・チラシの掲示など、関係情報の積極的な提供を継続して実施する。	



## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	産業観光課

### (計画における位置づけ)

基本目標	Ⅲ	「人と人・男と女」が活躍できる環境づくり
重点目標	②	女性の能力開発

### (取組事業の計画)

番号	37
名称	研修参加費用の助成
内容	中小企業者の従業員等の人材を育成するため、男女に関係なく国及び地方公共団体等が実施する研修に参加する費用の一部を助成する。
男女共同参画推進との関係	男女に関係なく助成することで、就業における技能や知識が平等に習得でき、男女がそれぞれの能力を十分に発揮できる。
実施に関するデータの名称	町広報での周知回数
成果に関するデータの名称	研修に参加した女性の割合、研修での満足度

### (取組事業の評価)

自己評価	2	(評価基準) 5・・・十分に取り組んだ(達成度9割前後) 4・・・概ね取り組まれた(達成度8割前後) 3・・・一定程度取り組まれた(達成度6割前後) 2・・・あまり取り組まれていない(達成度3割前後) 1・・・全く取り組まれていない(達成度が3割に満たない)
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	企業の申請に対して、就業における技能や知識が平等に習得でき、男女がそれぞれの能力を十分に発揮できるよう、男女に関係なく助成を行った。 町広報誌への掲載回数。 研修に関しては、チラシを町内施設に設置した。	
実施のデータ	町広報誌及びHPに掲載した。(年2回)	
成果のデータ	研修参加者 R2年度16件、うち、研修に参加した女性は1人 令和3年度26件、うち、研修に参加した女性は0人	
課題	研修利用者に女性の参加者が少ない。	
次年度への改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>町広報誌で男女の研修参加費助成金について周知する。</li> <li>企業に研修案内を配布して、男女に関係なく受講できるよう周知する。</li> <li>研修での満足度が確認できるようアンケートで確認する。</li> </ul>	

# 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	産業観光課

## (計画における位置づけ)

基本目標	Ⅲ	「人と人・男と女」が活躍できる環境づくり
重点目標	②	女性の能力開発

## (取組事業の計画)

番号	38
名称	再就職・起業への支援
内容	再就職を目指す女性に対して、求人情報等を提供するとともに、起業を目指す人には、商工会等と連携しながら相談体制の充実を図り、起業等に対する助成支援を行う。
男女共同参画推進との関係	町内6カ所での求人情報の提供、起業・創業に要する経費の助成
実施に関するデータの名称	提供回数及び提供箇所数、助成件数及び助成額
成果に関するデータの名称	就業者数、起業・創業者数

## (取組事業の評価)

自己評価	3	(評価基準) 5・・・十分に取組んだ(達成度9割前後) 4・・・概ね取組まれた(達成度8割前後) 3・・・一定程度取組まれた(達成度6割前後) 2・・・あまり取組まれていない(達成度3割前後) 1・・・全く取組まれていない(達成度が3割に満たない)
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	求人情報誌を町内6カ所に設置し、情報提供を行った。 起業・創業支援事業補助金制度は広報誌で周知を図った。	
実施のデータ	町内6カ所にハローワークの求人情報誌の配布数(週1回配布) 起業・創業に要した経費に対して助成を行った。 制度の周知を図るために広報掲載を年2回実施する。町HPや商工会報に掲載	
成果のデータ	起業・創業支援事業者補助金申請件数 令和2年度申請件数6件(女性からの申請件数1件) 令和3年度申請件数4件(女性からの申請件数2件)	
課題	起業・創業支援事業者補助金申請の利用者を増やすための制度の周知が必要	
次年度への改善点	起業・総合支援事業補助金制度の周知を図る(町広報誌年2回、町HP・商工会広報)	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	社会教育課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅲ	「人と人・男と女」が活躍できる環境づくり
重点目標	③	地域・防災活動への女性の参画促進

### （取組事業の計画）

番号	39
名称	NPO等の活動推進のための支援
内容	NPO法人・ボランティア団体がなどが行う自主的な活動を支援します。
男女共同参画推進との関係	町の補助団体であるNPO法人スポネットせいろうでは、自主事業として「ヨガ教室」「ピラティス教室」「フラダンス教室」など女性のニーズに対応した事業を実施している。また、高齢者向け「健康づくり教室」を実施している。これら事業を支援する。
実施に関係するデータの名称	町広報での周知回数
成果に関係するデータの名称	参加者の満足度

### （取組事業の評価）

自己評価	5	（評価基準） 5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	NPO法人スポネットせいろうにおいて、様々な事業を実施した。また、高齢者向けの健康教室も実施しており、これらの事業を社教だより等で広報するなど支援を行った。	
実施のデータ	R2：講座数30講座（のべ579回）・参加者数のべ7,299人 R3：講座数28講座（のべ577回）・参加者数のべ8,871人	
成果のデータ	R2・3共に参加者のほぼ全員が内容に満足・やや満足している（ピラティス・ヨガ・太極拳等）	
課題	コロナの影響により、感染対策が最優先となり、新たな取り組みが十分にできなかった。高齢者はコロナの感染リスクが高いため、内容の充実とともに感染対策の徹底が不可欠。	
次年度への改善点	スポネットせいろうが様々な年代や性別のニーズに合わせた自主事業を展開できるよう、今後も広報等を含め支援する。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	社会教育課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅲ	「人と人・男と女」が活躍できる環境づくり
重点目標	③	地域・防災活動への女性の参画促進

### （取組事業の計画）

番号	40
名称	女性団体等の活動支援
内容	町の女性団体等の活動について、支援する。現在、町との共催して実施している事業（お正月公民館まつり、スポレク祭）を推進していく。
男女共同参画推進との関係	町の女性団体のニーズを把握し、女性団体の地域への参画を促進します。
実施に関係するデータの名称	イベント共催の開催数・参加者
成果に関係するデータの名称	イベント共催の開催数・参加者

### （取組事業の評価）

自己評価	2	<p>（評価基準）</p> <p>5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後）</p> <p>4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後）</p> <p>3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後）</p> <p>2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後）</p> <p>1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）</p>
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	<p>例年、女性団体の協力により行っている「お正月公民館まつり」、「スポレク祭」についてはコロナにより開催を見送った。</p>	
実施のデータ	<p>コロナにより中止。</p>	
成果のデータ	<p>コロナにより中止。</p>	
課題	<p>女性団体の高齢化による人数減がみられる団体もあるなかで、コロナによりイベントの中止が続くなか、どのように地域への参画を促進していくか。</p>	
次年度への改善点	<p>女性団体等の意見を聞きながら、事業に参画しやすいようイベントの内容を検討する必要がある。</p>	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	生活環境課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅲ	「人と人・男と女」が活躍できる環境づくり
重点目標	③	地域・防災活動への女性の参画促進

### （取組事業の計画）

<b>番号</b>	<b>41</b>
<b>名称</b>	<b>まちなか防災訓練への女性の参画促進</b>
<b>内容</b>	まちなか防災訓練への女性の意見を反映するとともに訓練への参画促進に努めます。
<b>男女共同参画推進との関係</b>	女性のニーズを反映して訓練を行うことで、女性も訓練に参加しやすくなり、災害時にも男女がそれぞれ役割分担等スムーズにできる。
<b>実施に関係するデータの名称</b>	訓練終了後に実施するアンケート
<b>成果に関係するデータの名称</b>	訓練計画策定及び訓練に参加した女性の割合

### （取組事業の評価）

<b>自己評価</b>	<b>1</b>	（評価基準） 5・・・十分に取組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取組まれていない（達成度が3割に満たない）
<b>男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか</b>	新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、令和2、3年度ともにまちなか防災訓練未実施	
<b>実施のデータ</b>	未実施のためデータなし	
<b>成果のデータ</b>	未実施のためデータなし	
<b>課題</b>	まちなか防災訓練への参加人数が減少している。	
<b>次年度への改善点</b>	まちなか防災訓練への参加を呼びかけていく。その中で、男女ともに訓練の重要性を知ってもらい、参加者の増につなげる。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	生活環境課

### (計画における位置づけ)

基本目標	Ⅲ	「人と人・男と女」が活躍できる環境づくり
重点目標	③	地域・防災活動への女性の参画促進

### (取組事業の計画)

番号	42
名称	女性消防隊の設置及び育成
内容	女性ならではの視点を生かした地域での広報・防火・予防活動を実施し、高齢化や生活様式の多様化などに対応し、安全で災害に強いまちづくりに貢献する。
男女共同参画推進との関係	女性ならではの視点を生かした地域での広報・防火・予防活動を実施し、高齢化や生活様式の多様化などに対応するため、消防団にも女性の活動が期待されている。
実施に関係するデータの名称	女性消防隊設置に向けた検討会議開催数
成果に関係するデータの名称	設置予定年度

### (取組事業の評価)

自己評価	2	(評価基準) 5・・・十分に取組んだ(達成度9割前後) 4・・・概ね取組まれた(達成度8割前後) 3・・・一定程度取組まれた(達成度6割前後) 2・・・あまり取組まれていない(達成度3割前後) 1・・・全く取組まれていない(達成度が3割に満たない)
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	県内の女性消防隊設置及び活動状況を調査し、検討を行った。	
実施のデータ	検討会議 R2年度1回、R3年度1回(幹部14人)	
成果のデータ	設置予定年度未定	
課題	1 現在の消防団員の組織体系における女性消防隊の位置付け 2 平成30年度に班の再編により団員を大幅に削減(定員減)した状況下において、男性消防隊をさらに減じて女性消防隊を編入させることは現況的に厳しく、当分の間は実施の目途が立たない状況にある。	
次年度への改善点	組織体系における女性消防隊員の位置づけ、定数の見直し及び実際の活動内容も協議していく必要がある。	



## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	産業観光課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅲ	「人と人・男と女」が活躍できる環境づくり
重点目標	④	就業機会の均等と労働環境整備

### （取組事業の計画）

<b>番号</b>	<b>43</b>
<b>名称</b>	<b>雇用の分野における男女の均等な機会等の啓発活動</b>
<b>内容</b>	雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等について、町民の関心と理解を深めるとともに、特に、雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保を妨げている諸要因を解消を図るため、必要な啓発活動を行う。
<b>実施指標（out put）</b>	町広報誌やHPに掲載。（随時）
<b>実施に関するデータの名称</b>	広報誌やHPの掲載数
<b>成果に関するデータの名称</b>	諸要因の解消度

### （取組事業の評価）

<b>自己評価</b>	<b>3</b>	<small>（評価基準）</small> 5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）
<b>成果の内容</b>	男女雇用機会均等法の制度に関する内容や、待遇や労働に関するお知らせを広報に啓発活動を行った。	
<b>実施のデータ</b>	広報への掲載数令和2年度8件、令和3年度7件	
<b>成果のデータ</b>	雇用分野における男女の均等な機会及び待遇の確保を妨げている諸要因は器用によって様々であり、その解消度を把握することは困難である。	
<b>課題</b>	国から掲載依頼がきても、広報誌の締切りに間に合わないことがある。	
<b>次年度への改善点</b>	厚生労働省の男女雇用機会均等法月間に関わらず、雇用分野における男女の均等な機会及び待遇を確保できるよう、啓発記事を随時広報誌に掲載する。HPについては都度掲載する。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	産業観光課

### (計画における位置づけ)

基本目標	Ⅲ	「人と人・男と女」が活躍できる環境づくり
重点目標	④	就業機会の均等と労働環境整備

### (取組事業の計画)

番号	44
名称	雇用情報の提供
内容	ハローワーク等の関係機関と連携して、その人の能力などに応じた就業に関する資料や求人情報を提供します。
男女共同参画推進との関係	男女に関係なく、平等に求人情報等を発信することで、働きやすい職場やその人に合った職場を選ぶことができ、ともに良好な職場を選択できる。
実施に関係するデータの名称	提供回数及び提供箇所数
成果に関係するデータの名称	就業者数

### (取組事業の評価)

自己評価	3	(評価基準) 5・・・十分に取り組んだ(達成度9割前後) 4・・・概ね取り組まれた(達成度8割前後) 3・・・一定程度取り組まれた(達成度6割前後) 2・・・あまり取り組まれていない(達成度3割前後) 1・・・全く取り組まれていない(達成度が3割に満たない)
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	町内6か所にハローワークの求人情報誌を配布し、関係機関(若者サポートステーション)と連携して就労相談と職業適性検査を実施した。	
実施のデータ	ハローワークの求人情報誌を週に1回配布、就労相談会と職業適性検査を月に1回実施。	
成果のデータ	関係機関(若者サポートステーション)が行う適正検査相談件数令和2年度5人のうち、就業者等1件、適正検査相談件数令和3年度6人のうち、就業者等0件	
課題	職業適性検査の参観者が少ない。	
次年度への改善点	就労相談会と職業適性検査の参加者を増やすため、案内を町広報紙に毎月掲載し、町内施設にチラシを設置する。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	総務課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅲ	「人と人・男と女」が活躍できる環境づくり
重点目標	④	就業機会の均等と労働環境整備

### （取組事業の計画）

番号	45
名称	ハッピーパートナー企業等の登録推進
内容	仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備を促進するため、新潟県が推進する「ハッピー・パートナー企業」並びに次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」の認定制度（くるみん認定）の周知及び登録に向けた働きかけを町内事業所に対して行います。
実施指標（out put）	企業への働きかけ（年3社）
実施に関係するデータの名称	企業への働きかけの回数
成果に関係するデータの名称	新規登録企業数

### （取組事業の評価）

自己評価	4	<small>（評価基準）</small> 5・・・十分に取組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取組まれていない（達成度が3割に満たない）
成果の内容	東港立地企業連絡協議会役員会での資料の配布を行い、町内企業へ登録呼びかけを行ったところ、ハッピー・パートナー企業登録が2社増となった。	
実施のデータ	東港立地企業連絡協議会役員会での資料による呼びかけ1回	
成果のデータ	R2：新規登録企業0社（町内登録企業合計8社）、検討中小企業3社 R3：新規登録企業2社（町内登録企業合計10社）	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度（特に企業側にとってのメリット）が伝わりづらい</li> <li>・広報等での周知だけでなく、1社1社に交渉する必要がある</li> </ul>	
次年度への改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務課だけでなく、各所属からも関係企業に呼びかけを依頼してもらうよう働きかけを行う</li> </ul>	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	産業観光課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅲ	「人と人・男と女」が活躍できる環境づくり
重点目標	⑤	農水産業及び商工業者の男女共同参画の確立

### （取組事業の計画）

番号	46
名称	農業・商工団体等への女性参画の指導
内容	集落営農や法人化にあたっての設立相談時において、女性の参画について指導するとともに、商工会を通じて商工業者の女性参画について働きかけを行う。
実施指標（out put）	集落営農及び法人化指導（随時）、商工会への働きかけ（年1回）
実施に関するデータの名称	指導件数及び指導回数、働き回数
成果に関するデータの名称	女性の組織参画人数

### （取組事業の評価）

自己評価	3	<small>（評価基準）</small> 5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）
成果の内容	法人化の相談が令和2年度0件、令和3年度1件あり、代表に女性1名が参画した。	
実施のデータ	法人化相談件数1件	
成果のデータ	法人化に向けた相談時、既に女性が1名が参画されており、特段の働きかけは要しなかった。	
課題	集落営農及び法人の女性の参画人数が少なく、あまり周知されていない。	
次年度への改善点	集落営農及び法人化にあたっての設立相談時において、引き続き女性の参画について指導していくとともに、商工会を通じてもっと積極的にチラシやセミナーの案内を配布し、女性の参画について周知していく。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【関連事業】

年度	2022
担当課	農業委員会

### (計画における位置づけ)

基本目標	Ⅲ	「人と人・男と女」が活躍できる環境づくり
重点目標	⑤	農水産業及び商工業者の男女共同参画の確立

### (取組事業の計画)

番号	47
名称	家族経営協定の締結
内容	経営と生活の境目を明確にし、各世帯員の役割、労働時間、労働報酬等の就業条件について家族内の話し合いにおいて取り決める家族経営協定の普及促進に努める。
男女共同参画推進との関係	家族経営協定を結ぶことにより、女性の労働が適正に評価される。
実施に関係するデータの名称	個別斡旋人数
成果に関係するデータの名称	家族経営協定の締結件数

### (取組事業の評価)

自己評価	2	(評価基準) 5・・・十分に取組んだ(達成度9割前後) 4・・・概ね取組まれた(達成度8割前後) 3・・・一定程度取組まれた(達成度6割前後) 2・・・あまり取組まれていない(達成度3割前後) 1・・・全く取組まれていない(達成度が3割に満たない)
男女共同参画推進との関係はどのように追及されたか	未締結の認定農業者、新規就農者に説明を行う。	
実施のデータ	個別斡旋人数 R2年度 0人、R3年度 1人	
成果のデータ	家族経営協定の締結件数 0件 (R2.3)	
課題	協定の内容は理解されるが、実質的なメリットを感じるまでには至らず、締結されないことが多い。	
次年度への改善点	全国農業図書が発行しているパンフレットを活用し、協定締結のメリットと手順について、町民にわかりやすい説明に努める。 また、次年度発行の農業委員会だよりに家族経営協定の周知文書を掲載する。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	産業観光課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅲ	「人と人・男と女」が活躍できる環境づくり
重点目標	⑤	農水産業及び商工業者の男女共同参画の確立

### （取組事業の計画）

<b>番号</b>	<b>48</b>
<b>名称</b>	<b>女性組織の育成支援</b>
<b>内容</b>	男女共同参画の実現に向け、農業の女性組織の育成と交流活動を支援します。また、商工業団体の自営業者については、必要に応じて商工会等と連携した支援に努めます。
<b>実施指標（out put）</b>	農村地域生活アドバイザーの募集
<b>実施に関するデータの名称</b>	町広報掲載回数、HP掲載回数
<b>成果に関するデータの名称</b>	農村地域生活アドバイザーの会員数の増加

### （取組事業の評価）

<b>自己評価</b>	<b>2</b>	<small>（評価基準）</small> 5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）
<b>成果の内容</b>	町広報誌に農村地域生活アドバイザーの募集を行った。	
<b>実施のデータ</b>	町広報誌に2回掲載	
<b>成果のデータ</b>	データとして示すことが難しい。	
<b>課題</b>	女性いきいき交流会員が0人である。（R2年度末で解散）	
<b>次年度への改善点</b>	町内の若手女性農業者へ個別に声をかけて、アドバイザーに入会してもらえよう周知を図る。	



## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	総務課

### （計画における位置づけ）

基本目標	IV	計画の確実な推進のための体制整備
重点目標	①	推進体制の充実

### （取組事業の計画）

番号	49	
名称	町男女共同参画推進会議と所属推進員の活用	
内容	全庁的な体制で計画の推進を図るため、町男女共同参画推進会議を積極的に活用し、取組に対する庁内トップの認識共有を図るとともに、各課等に所属推進員を配置し、取組事業の実効性を確保します。	
実施指標（out put）	所属推進員の選定（年度当初）、各会議の開催（年2回以上）	
実施に関するデータの名称	所属推進員の選定、推進員会議の開催数	
成果に関するデータの名称	計画の確実な前進（毎年度の成果・課題の検証）	

### （取組事業の評価）

自己評価	4	<p>（評価基準）</p> <p>5・・・十分に取り組んだ（達成度9割前後）</p> <p>4・・・概ね取り組まれた（達成度8割前後）</p> <p>3・・・一定程度取り組まれた（達成度6割前後）</p> <p>2・・・あまり取り組まれていない（達成度3割前後）</p> <p>1・・・全く取り組まれていない（達成度が3割に満たない）</p>
成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度より各所属の職員により構成される男女共同参画推進員を設置。</li> <li>・6月の推進員会議にて、通常業務に男女共同参画視点をもってあたるよう意識共有を行い、男女共同参画週間には各窓口や町施設に啓発チラシ等を設置するなど集中的な啓発活動を実施。</li> <li>・1月の推進員会議では、令和3年度の各課の取組状況の1次評価を実施。（書面開催）</li> </ul>	
実施のデータ	R2：推進委員の検討 R3：推進員会議の開催数 2回（対面開催1回、書面開催1回）	
成果のデータ	各所属に男女共同参画推進員を設置することにより、男女共同参画推意識を持ちながら通常業務を行った。 令和3年度取組状況を内部評価することにより、各所属の取組状況を全庁で共有した。	
課題	令和3年度から男女共同参画推進員を設置したが、活動内容が上記の活動のみである。	
次年度への改善点	今後は、上記の活動に加え、庁内の男女共同参画意識を高め、取組事業の実効性を確保するための新規の活動をする。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	総務課

### (計画における位置づけ)

基本目標	Ⅳ	計画の確実な推進のための体制整備
重点目標	②	推進体制の充実

### (取組事業の計画)

<b>番号</b>	<b>50</b>
<b>名称</b>	<b>数値目標による進行管理</b>
<b>内容</b>	計画を確実に推進し、その成果・課題を適切に把握するため、基本目標ごとに成果指標としての数値目標を設定します。
<b>実施指標 (out put)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検証（毎年度）※ 複数年単位で設定された目標は、その都度</li> <li>・ 各課の取組状況報告を男女共同参画推進員会議で1次評価を行った後に、委員会での2次評価を行う。</li> </ul>
<b>実施に関するデータの名称</b>	検証（各取組事業の取組状況）
<b>成果に関するデータの名称</b>	当年度における数値目標の達成状況の確認

### (取組事業の評価)

<b>自己評価</b>	<b>4</b>	<small>(評価基準)</small> 5・・・十分に取組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取組まれていない（達成度が3割に満たない）
<b>成果の内容</b>	各課の取組状況報告を男女共同参画推進員を活用し、1次評価を行った後に、委員会での2次評価を行う。年度末の委員会ですっかりと2次評価を行うことで、来年度の事業へ活かす。	
<b>実施のデータ</b>	取組状況について、担当課に対して年度の実施指標等を設定するように照会を行い、取組事業への意識づけを実施。 取組状況照会を行い、各課の取組状況報告を男女共同参画推進員会議にて1次評価を行った。（R3年度～開始）	
<b>成果のデータ</b>	各課の取組状況について、委員会での2次評価を行った。	
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1月に各課の取組状況報告を男女共同参画推進員会議にて1次評価を行ったが、新型コロナウイルス感染者数の急増や新潟県へのまん延防止等重点措置の適用があったため、書面開催となり、1次評価が妥当か判断が難しい。</li> </ul>	
<b>次年度への改善点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度委員会での意見を適正に反映し、着実に計画を推進する。</li> </ul>	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	総務課

### (計画における位置づけ)

基本目標	Ⅳ	計画の確実な推進のための体制整備
重点目標	②	推進体制の充実

### (取組事業の計画)

番号	51
名称	計画の適切な検証とその公表
内容	計画を確実に推進し、その成果・課題を適切に把握するため、聖籠町男女共同参画計画策定委員会において毎年度評価を実施し、その結果を町広報やホームページなどで公表します。
実施指標 (out put)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年度初めに年間の事業スケジュールを提出してもらい、実施を促す</li> <li>・ 各所属による取組事業報告を男女共同参画推進員による1次評価、委員会による2次評価を行う (各年1回)</li> </ul>
実施に関するデータの名称	1次及び2次評価の実施の有無
成果に関するデータの名称	当年度の成果と次年度に向けた課題の把握

### (取組事業の評価)

自己評価	4	<small>(評価基準)</small> 5・・・十分に取組んだ (達成度9割前後) 4・・・概ね取組まれた (達成度8割前後) 3・・・一定程度取組まれた (達成度6割前後) 2・・・あまり取組まれていない (達成度3割前後) 1・・・全く取組まれていない (達成度が3割に満たない)
成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の確実な推進のため、5月に担当課に対して年度の実施指標等を設定するように照会を行い、取組事業への意識づけを実施。</li> <li>・ 1月には年度の取組状況照会を行い、各課の取組状況報告を男女共同参画推進会議にて1次評価、委員会での2次評価後、結果について広報及びHPで公表する予定</li> </ul>	
実施のデータ	5月の実施指標設定照会、1次評価実施、2次評価実施	
成果のデータ	当年度の取組状況と成果、次年度に向けた課題の把握ができた	
課題	2月に委員会を開催してから各課に次年度の取組みを照会するまで、年度をまたぐことから担当者が人事異動より変わり、取組事業が停滞するケースがある。	
次年度への改善点	年度初めの実施指標照会に併せて各所属の事業実施計画を提出してもらい、各事業がいつ行われるのかを把握し、実施を促す。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	総務課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅳ	計画の確実な推進のための体制整備
重点目標	③	近隣自治体、県及び関係団体との連携

### （取組事業の計画）

<b>番号</b>	<b>52</b>
<b>名称</b>	<b>定住自立圏形成協定に基づく取組の推進</b>
<b>内容</b>	定住自立圏形成協定を締結している新発田市及び胎内市と連携し、効率的かつ効果的な事業の実施を進めます。
<b>実施指標（out put）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共生ビジョンに記載した事業の実施（毎年度）</li> <li>・リーフレットを教育機関だけでなく、広い世代に届くようシルバー人材センターや図書館での配布を行う。</li> </ul>
<b>実施に関係するデータの名称</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共生ビジョンに記載した事業の実施の有無</li> <li>・リーフレットの配布部数</li> </ul>
<b>成果に関係するデータの名称</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共生ビジョンに記載した事業への市民の参加者数等</li> <li>・アンケートにおける男女平等意識の浸透度</li> </ul>

### （取組事業の評価）

<b>自己評価</b>	<b>5</b>	<small>（評価基準）</small> 5・・・十分に取組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取組まれていない（達成度が3割に満たない）
<b>成果の内容</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新発田市・胎内市と連携し、共生ビジョンに記載した啓発イベントを1回、男女共同参画巡回パネル展1回を実施した。</li> <li>・啓発イベントはコロナ禍のためオンライン方式で開催。</li> <li>・入園式・入学式のタイミングで保育園・子ども園・小学校・中学校での」リーフレットの配布を行った。</li> </ul>
<b>実施のデータ</b>		R2：・11月にワークライフバランスセミナー（オンライン形式）の開催（11月27日開催、参加者39人） R3：・6月の男女共同参画週間にワークライフバランスセミナーの開催（6月25日開催、参加者30人） ・6月の男女共同参画週間に男女共同参画巡回パネル展の開催（3市町持ち回り） ・入園式・入学式でのリーフレット配布（こども園：139人 小学校：150人 中学校：111人）
<b>成果のデータ</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク・ライフバランスセミナーの開催（6月25日開催、参加者30人）</li> <li>・「男女共同参画」という言葉の認知度を前回調査時（令和元年度）と比較すると知っている人の割合が2.2%減とわずかではあるが減少した。（令和3年度市民意識）</li> </ul>
<b>課題</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレットの有効な活用方法について検討する</li> <li>・コロナ禍で対面式でのイベントの開催が難しい</li> </ul>
<b>次年度への改善点</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレットを入園式・入学式、シルバー人材センター、男女共同参画週間での町施設設置に加え、その他に設置できる施設を探し、設置依頼を行う。</li> <li>・人を集めて講演をするだけでなく、今年度と同様にオンライン開催やパネル展の実施を検討することによってコロナ禍でも継続して啓発イベントを行う。</li> </ul>

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	総務課

### (計画における位置づけ)

基本目標	IV	計画の確実な推進のための体制整備
重点目標	③	近隣自治体、県及び関係団体との連携

### (取組事業の計画)

<b>番号</b>	<b>53</b>	
<b>名称</b>	新潟県や新潟県女性財団等との連携	
<b>内容</b>	県や新潟県女性財団と連携を密にし、協力して課題解決に取り組めるよう、情報共有や事業の共催を進めます。	
<b>実施指標 (out put)</b>	女性財団との事業共催 女性財団が実施している事業を積極的に活用	
<b>実施に関するデータの名称</b>	会議等へ参加回数、事業の実施の有無	
<b>成果に関するデータの名称</b>	会議等へ参加回数、事業への参加者数等	

### (取組事業の評価)

<b>自己評価</b>	<b>2</b>	<small>(評価基準)</small> 5・・・十分に取組んだ(達成度9割前後) 4・・・概ね取組まれた(達成度8割前後) 3・・・一定程度取組まれた(達成度6割前後) 2・・・あまり取組まれていない(達成度3割前後) 1・・・全く取組まれていない(達成度が3割に満たない)
<b>成果の内容</b>	男女共同参画週間に各窓口や町施設に啓発チラシ等を設置し、集中啓発をした際は、町独自では啓発チラシの用意や収集に限界があったため、新潟県女性財団と協力しながら啓発チラシを用意した。	
<b>実施のデータ</b>	R2：県、県女性財団主催会議及び研修への参加回数1回 定住自立圏啓発イベント共催 R3：県、県女性財団主催会議及び研修への参加回数0回	
<b>成果のデータ</b>	R2：県、県女性財団主催会議及び研修への参加回数1回 定住自立圏啓発イベント共催 R3：県、県女性財団主催会議及び研修への参加回数0回	
<b>課題</b>	啓発チラシ等については、新潟県女性財団と協力しながら行ったが、聖籠町単独で女性財団との連携事業は行えなかった。	
<b>次年度への改善点</b>	啓発チラシの用意については、新潟県女性財団と協力して行ったが、連携事業がそれのみで終わってしまったため、今後は更なる連携事業の検討を行う。	

## 第3次聖籠町男女共同参画計画 取組事業シート【主目的事業】

年度	2022
担当課	総務課

### （計画における位置づけ）

基本目標	Ⅳ	計画の確実な推進のための体制整備
重点目標	④	町民や事業者との協働

### （取組事業の計画）

<b>番号</b>	<b>54</b>
<b>名称</b>	聖籠町男女共同参画計画策定委員会の活用
<b>内容</b>	計画の推進に当たり、町民や事業者の意見を適切に反映するため、聖籠町男女共同参画計画策定委員会を定期的に開催します。
<b>実施指標（out put）</b>	委員会の開催（年3回程度）
<b>実施に関するデータの名称</b>	委員会の開催数
<b>成果に関するデータの名称</b>	取組事業に対する毎年度の評価と次年度への反映

### （取組事業の評価）

<b>自己評価</b>	<b>3</b>	（評価基準） 5・・・十分に取組んだ（達成度9割前後） 4・・・概ね取組まれた（達成度8割前後） 3・・・一定程度取組まれた（達成度6割前後） 2・・・あまり取組まれていない（達成度3割前後） 1・・・全く取組まれていない（達成度が3割に満たない）
<b>成果の内容</b>	R2:委員会開催数1回（3月） R3:2月に委員会を書面開催した。	
<b>実施のデータ</b>	R2：委員会開催数1回（3月） R3：委員会開催数2回（9月（対面開催）、2月（書面開催））	
<b>成果のデータ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画意識調査アンケートのクロス集計報告</li> <li>・取組事業に対する毎年度の評価と次年度への反映</li> </ul>	
<b>課題</b>	計画策定当初は年2回の開催を予定していたが、予算の関係で、年1回への変更となり、その代替案として取組事業について中間調査を行っていたが、それほど委員会での指摘が事業に反映されたかどうか確認するまで、時間が空きすぎているため、今年度は年度の実施指標照会を行ったが、担当者が人事異動により変わり、取組事業が停滞するケースがある。	
<b>次年度への改善点</b>	担当者が人事異動により変わり、取組事業が停滞するケースがあるため、年度の実施指標設定照会に併せて各所属で事業実施計画を提出してもらい、各事業がいつ行われるのかを把握し、実施を促す。	